



四書國字辨

論語

二

1039  
4





12  
1039  
4

四書國字辯論語卷之三

公冶長第五

コノ篇ハ古今ノ人物ノ賢不賢ノ得失ヲ評論スルコトモ物格リ  
理ヲ窮ルノ一端ヂヤ胡氏ノ料簡ニ子貢ノ門人ノ記スル処ナラン

子曰謂公冶長可妻也

謂トハウワサスルコトヂヤ公冶ハ姓テ長ハ名  
デアル孔子ノ門人チヤ妻ストハツマニスルヲ云

雖在縲紲之

中非其罪也以其子妻之

縲トハ黒イ縲ノコトハツナクトヨムシバルコトチヤ古ハ罪人ヲ  
コイ繩テレバリテ獄中へ入レタルコトニ縲紲ノ中ニアリト云

ハハ入牢シタコトナル公冶長ハ牢へ入タコトアレバ長ガオカシタル罪テナイコトハツノ入ラオトスニタラ  
ストテ孔子ノムスメヲ長ニメアハセテ妻トナシユフ或説ニ公冶長ガ衛カラ魯ニカヘル道ニテ鳥ノ  
ナク声ヲキクニ清溪ニキテ死人ノ肉ヲ食フトテ友ヲヨビタリ少レキタレバ老嫗ガ道ノハタ  
ニ突テイルユヘ公冶長ガナユヘ兜ゾトキ、タレバ私ノ子ガ前日出テ、今ニカハラズ定メテ死ダテアタ  
フ其死骸ノアリ処ガレレヌエナクト云公冶長サキニキ、タル鳥ノ声ノコトヲ云テ定メテ是レガツフ  
方ノ子デアラフト教ヘシヨリキテミレバ我ガ子テ有タ是レハ大方公冶長ノ殺レタモノナラン  
ト疑ヒ村官ニウツタヘタレバ村官キ、テ公冶長ハナニソノ方ノ子ヲ殺シタルヤト問フ嫗ガ  
答ニ公冶長ノ道ニテオレヘタルコトヲ云村官又長ニ何ユヘ人ノ子ヲ殺シタルト云長トリノ  
声ヲキ、テ知リタリト云然ラバカサ子テ鳥ノナク声ヲキ、ワケサヒテ云フ処實ナラバ疑シ  
若レイツハリナラバ死罪ニ行バントテ六十日ノ間牢へ入レテ置タルニ或ル時ニ獄ノ近処テ鳥ノ多ク  
ナクラ長ニキ、タレバ是レハ白蓮水ノホトリデ黍粟ヲツケタ牛カ車ヲヒツクリカヘノ解ラ  
オリ黍粟ガ多クコボレテアルヲ啄ントテ友ヲヨフト云ユヘ入ラツカハシテ見タレバ長ガ詞ヲ  
如クテ有タ後ニモ燕ノ語ヲキ、ウメタルユヘ放ラルコトヲ得タリト  
信用スルニ足ラ子、臣昔シカラ云ヒツタヘタコトニ此ニ記ス

○子謂南容

南容ハ魯ノ大夫ニシテ





ノ弟子ニテ南宮ヲリレユ南宮氏ナラシメノ南宮ト云名ハ緒又ノ名ハ  
趨字ハ子容オクリ名ヲ敬叔ト云孟懿子ガ兄ヂヤ

邦無道免於刑戮暗君ノ時ニアヒ道行ハスレヨク善行ヲツクムニ  
小人ノタメニ罪ニオトシレラレ刑罰セラルヤウチ

仰セラレ以其兄之子妻之南宮ガ子ニメツタナコトヲ云ス身ノ行ヒラツレムニ  
天下道アリテ治リタル時ニアハ必スアケ用ヒラレ又道

子謂子賤子賤ハ字ニテ姓ハ宓名ハ不  
齊ト云魯國ノ人デ孔子ノ

弟子君子哉若人君子哉トハ君子ノ徳アルヲ云若キ人トハカヤウナ徳アリト云フ  
家語ニ夫子ノ卒シテ寸子賤ハ二十四歳トアレハ弱年ノ時カラ入並ヨリ

魯無君子者斯焉取斯ケラサス子賤ガ徳ヲホメサセラルニヨリ

又魯國ノモホメテ子賤ガ徳アルト云モ魯國ハ君子者ノ多クニソノ君子ノ徳ヲ  
トリ是レヲニテビテカヤウニ君子ニ成タモノヂヤ薰陶ノ益アルヲ云

子曰賜也何如孔子ノ諸弟子ヲ評判シテフニ子貢ニツカラ  
手前ノ器量ヲトヒタスデアアル

子曰女器也器トハ道  
具ノ一

曰瑚璉也ウツハモク中ニテモ宗廟ノニツリニ  
用ユル第一トスルタツトヒ瑚璉デ

或曰或ハ  
アル

雍也仁而不佞雍ハ孔子ノ弟子姓ハ雍字ハ仲弓ト云イニレハ八辯古ノヨイラ佞ト  
云コノ時分ハ辯古ヲタツトシダユ仲弓ガ詞ノスクナヒラ評ノ仁者ナレ

子曰焉用佞辯古ガヨイトテ  
用ニ立モノアハナイ

禦人以口給屢憎於人禦トハ  
入リテ

不知其仁焉用不知其仁トハ  
入リテ

佞仲弓ハ仁者ヂヤト云カソレハ合点ガユカ又焉用佞トカサ子テノモフハ辯古ノ用ユルニ  
ラヌヲ深ク戒ムルデアアル仲弓ハ德行ノ君子ナレ仁ヲユルレモハヌヲミレバ仁道ノ廣大

子使漆雕開仕漆雕ハ姓ニテ開ハ名若ト云孔子ノ弟子テアル漆雕  
開ガ才智ハ仕官ノモ不足ナイニ孔子ユルレテ仕ラレタラバ

對曰吾斯之未能信仕官スルハ俸祿ヲウケルハカリデハナイ道理ヲトクト  
合点セバナラヌ信スルトハウタカフ処ナクアキラカニ

子曰道不行乘桴浮于海聖人ノ道スタレ天下ニ道ヲ行フ賢君ノナイニ中  
國ノ内テナイ海外ヘ桴ニノリテユカントノモフ竹木

從我者其由與子路ガ名ヲヨヒカケテ我九夷ノ海外ニユク  
ニツイテ我ニ從ヒユカシモノハ由ヨリ外ニハアル

子路聞之喜夫子ノ桴ニノリテ海外ヘユカフトノモヒレハ道ノ行ヒヌヲナギキテ  
ノモヒレラ子路ノ本意ヲサトラズ實ニユキタマウト思ヒ

子曰由也好勇過我無所取材材ハ裁ト同シテハカ  
ト訓ヌ由ナシダノ勇ヲ

我從之我ニ從ヒ  
仰セラレ

子路聞之喜夫子ノ桴ニノリテ海外ヘユカフトノモヒレハ道ノ行ヒヌヲナギキテ  
ノモヒレラ子路ノ本意ヲサトラズ實ニユキタマウト思ヒ

子曰由也好勇過我無所取材材ハ裁ト同シテハカ  
ト訓ヌ由ナシダノ勇ヲ

子曰由也好勇過我無所取材材ハ裁ト同シテハカ  
ト訓ヌ由ナシダノ勇ヲ

子曰由也好勇過我無所取材材ハ裁ト同シテハカ  
ト訓ヌ由ナシダノ勇ヲ

子曰由也好勇過我無所取材材ハ裁ト同シテハカ  
ト訓ヌ由ナシダノ勇ヲ



コノムヲ我レヨリモスキタリ然レ居當然ラハカルナレト義ニ勇ナルヲ  
ホメテフヤウナレ居實ハ事理ヲハカリシムラカニモテ戒ムル詞デアル ○子孟武伯問

子路仁乎子曰不知也 武伯ガ孔子ニ問人ノ中ニ子路ト云モノアリ是ハ仁人カト問フ  
夫子モ仁ト云モノハ日ニ三々至リ又八月ニ三々至リテ定メニクモ

モノユヘ仁タルハトフデアラフモ知ラズト答タマフ 又問 武伯カサ子テ夫子ノ知リモハヌ  
ト云ハアルミイト思テ問フ 子曰由也千乘之

國可使治其賦也 千乘ハ諸侯ノ国チヤ前ニアリ賦ハ兵賦ノトテ古ハ農ヨリ兵ヲ出  
シタルユヘ軍兵ノヲ賦ト云ラ賦ハ田地ニカケテトル役錢デアル子路

ガ勇ヨク大軍ヲスベツカサドルニヨリ諸侯ノ臣トナリテ 不知其仁也 子路ガオカク  
大國ノ兵賦ヲ治メスベツカサドラスルニ不足ナレ

仁知 求也何如 武伯又再求ガ 子曰求也千室之邑百乘之家可使爲之宰  
也 夫子仁ノヲ云ハスノ再求カオノヲ以テ答ヘタマフ千室ノ邑ハ卿大夫ノ邑チヤ家數千ハカ

ノ邑百乘ノ家ノ宰臣トナリ政ヲナレテ 不知其仁也 前ニ云ハル 赤也何如 赤ハ公西華カ  
家ヲ富シ民ヲユタカニスルニ不足ナレ

赤ト云孔子ノ 子曰赤也束帶立於朝可使與賓客言也 束帶ハ朝服ノ一節  
第子デアアル 侯ノ朝朝スルヲ賓ト

イヒ大夫ノ來聘スルヲ客ト云赤カ人トナリ容儀アリテ詞サワヤカナクハ鄰國カラ諸侯大夫ノ衆  
ル時ニ束帶ノ朝廷ニ立テアシラヒラサスルニヨリ周礼ノ行人ノ職デアアル

不知其仁也 夫子コノ三人ソノオノ用ユキヲユメテラユレハスソノウヘ聖人ノ人ヲ教テ  
實ヲ施スタメザヤ今時ノ學者ノ如ク經史ニヒロク詩文ニ長シタルバカ

テ賢人ノ行ハ小人ト同シヤウナル ○子謂子貢曰女與回也孰愈 夫子ニ子ソ  
ノテハ學問シタトハ云ハレヌ 智ノ優劣

ヲ問フテ子貢ガ自ラ 對曰賜也何敢望回也聞一以知十賜也聞一  
知十也 子貢ミツカラ顔回ニ及サルヲ答ルナリ敢望トハ之立テモ及ハヌヲ云顔子

以知一ノ智ハ明睿ナルユヘ始ラキテ終ラテラ知リ子貢ハ始ラキテワヅカニラ  
レルヲキテ十ラレルハ上知ニ生レナガラ知ル聖人ノ智ニテ

ヲキテニラレルハ中人以上ノヲナレバマナシテ知ルオデアアル 子曰弗如也 夫子コノ詞ヲ  
方ノ云フ如ク 吾與女弗如也 子貢ガ顔子ニ及バヌト云処ヲ

顔子ニ及ハヌ 子曰朽木不可雕也 子貢ガ顔子ニ及バヌト云処ヲ 宰子晝寢  
ヒル子スルハ人ノ 子曰朽木不可雕也 朽チクサリタル木ニハ

子ルハツノ時テオナイ 糞土之牆不可 糞土ハ糞ノ土ニテ子バリノ  
ナイニテツキタル壁ハコトテ又リテモ平カニナラヌ宰子ガ學業ニウミ意リヒル子

タラ此ノ兩事ノトリドコロ 於子與何誅 宰子ガヤウチモノハツノ罪ヲセメテモ役ニタ  
モナイニタトヘ玉フ 又言語ニカヲ又トノ玉フカ却テ深クセム詞

子曰始吾於人也聽其言而信其行 宰子ハ辯舌ノヨイ人ナルユヘ夫子カ  
時分ノヲチヤ我レワカイ時分ニ人ノモ云フノ正直ラシキテハ

身ノオコナヒモ詞ノ通リデアラフト信ジウケ食シガ 今吾於人也聽其  
言而觀其行 今ソノ詞ト行ヒノチガフヲ知ルニ詞ヲキソノ行ヒヲ

於子與改 三テタスデアル宰子ガヒル子シタニヨリ此ノ処ニ心ツイタ 於子與改

言而觀其行 今ソノ詞ト行ヒノチガフヲ知ルニ詞ヲキソノ行ヒヲ  
於子與改 三テタスデアル宰子ガヒル子シタニヨリ此ノ処ニ心ツイタ 於子與改



是 詞ヲキテ身ノ行ニテヨカラフト思フタ ○子曰吾未見剛者

トハ無欲ニシテガラクモノギヤスベテ何ニテモコノムカアバソレカラ剛ガタワム

或對曰申枨 アリコノ人ハ剛者ナラント云 子曰枨也慾焉得剛

慾トハ私欲ノチヤヤトノ欲ガ多クレバソレヒカサルユニ義ノ一サニスベキ処ニオイテナサ

トハセ ○子貢曰我不欲人之加諸我也吾亦欲無加諸人

トハナイヤウニシタク思フチヤヤ人ノ心ト云モノハ皆身同レヤウナモノナレバ無理ナラ

ノ問デアアル 子曰賜也非爾所及也

ガアルニホドコソイヤト思フコトヲ亦人ニホドコソト云ハ怒チヤ何ユナレバ勿レト云禁

怒カラ仁ニ至ルデアアル ○子貢曰夫子之文章可得而聞也

文章トハ徳ノ外ニアラハレタル威儀容貌文字言語ノ

得而聞也 性ハ人ノウケテ得テ生ルル処ノ天理ガヤ天道ハ天理自然ノ本体デアアル是ラ

却テ善ニナルコトヤ子貢ハヒメテ ○子路有聞未之能行

行フコトヲ唯恐有聞 前ニキタルコトヲ速ニ行ヒレハ常人ノ及ハヌ処デアアル

○子貢問曰孔文子何以謂之文也

生テイル時ノ身ノ行ニ善惡ニヨリテツケルコトヤ孔文子ハイキテイル

學 敏トハハノ又ケヌコト智ノサトヒラ云 不恥下問 我ヨリ目シタナモノニモ

文也 スベテ敏ナルモノハ學ヲコノメヌモノチヤガ文子ハ學問スキデアアル位ノ高イモノハ

アル ○子謂子產有君子之道四焉

事ガ君子ノ道ニ 其行己也恭 恭ハイシギンナルコト子產ガ己レガ身ノ行ニツ子ニイシギン

不是ソノ 其上也敬 上ハ君親スベテ己ガ上ニアル人ヲ云コレニ

其使民也義 儀ハ宜字ノ義テ都鄙貴賤ノ

○子曰晏平仲善與

ナス処チヤ子產コノ四徳アリコレガ君子ノ道デアアル

ナス処チヤ子產コノ四徳アリコレガ君子ノ道デアアル

ナス処チヤ子產コノ四徳アリコレガ君子ノ道デアアル







ルニ思フハ意キ処アルユへ再思スレバ仕損ヒハナイ又ソレヲクリ反ノ三思ニ  
及ベバ私欲ノ方ニヒカレ或ハ奇貨ノ偏ニヒカルユへ再思スレバ可ナリトノモヲ ○子曰竇武

子邦有道則知邦無道則愚其知可及也其愚不可及也 衛武子ハ

名ハ命ト云武子ガ衛ニツカヘテ文公ノ時ニ邦道アリテ政ヲタスケ國ヲオサメタル武  
子ガ智チヤ成公ノ代ニナリテ國ヲウシチヒ道ナキ時ニ智者ハ我ガ身ニ難義ノ來ラシ

ヲラハカリ退テ君ヲワスル中ニ武子一人忠ヲツクシ難ヲイトハズ身ヲステ君ニツカ  
ヘタル外カラ見レバ愚チヤサレバ無道ノ世ニ君ヲ全シ我ガ身モ恙キハ智ヲタクニニ

スルモく及ヌ処ノ愚デアアル一説ニ此ノ章ハ武子ガ世ニ處スルノ權オノツカラ君子ノ道ニ  
カナフヲラノモフ人々ノ邦道アレバ智ナルノカタキヲ知テ道ナキ時ニ愚ナルヲ益カクキ

ヲ知ラズ邦道アレバ上ニキラカ下ニ直ナルユヘ是非分晰ナレバ此ノ時ニ智ヲ用テ事ヲ  
ナスヲハヤスレ道ナキ時ハ上クラク下モツラフテ是非分明ナラス此ノ時ニイツリ愚ニ

マカレハハカタシ是レソノ智ニハ ○子在陳曰歸與歸與 孔子諸國ヲ彫滯ノ道

君ナク陳國ニヨサナサル時イヨク道ノ行ハルマシキヲ知テコノ道ヲ後世ヘ傳ヘ  
嘆アリ歸與々々トカサ子テ云ハカヘラフト思フ心ノ深イデアアル 吾黨之小子在簡

斐然成章不知所以裁之 道ノ行ハルヲ知テコノ道ヲ後世ヘ傳ヘ

レヲカセラレタル門人ノ狂簡トテ心ノオホマカナルモく世事ニ簡畧ニノコセツカズ小節ニカ  
ハラズノ斐然成章トテソノ器量ノ外ニ発見ノ感見ルベキモノガ器量ノミナルウ

レタナラバ異端ヘ起リコソウナラ我レカヘリテ裁正シ ○子曰伯夷叔齊不食

舊惡怨是用希 伯夷叔齊ハ孤竹ノ國ノ三子チヤ饑ノ湯王ノ封セラレテヨリ夷

兄ハ弟ナガラニサホノイサキヨイ入チヤ惡人ノ朝ニツカヘズ惡人トモ云ハス郷人ト立チラシ  
冠ノユガニタルヲミテモ我ガ身ヲケガサントスルヤウニ思テ望々然トメノガレ去ル度量

ノセバクソウケイルノナラヌヤウナレバ惡人ト人ツノアヤチラ改ムレバ舊ノワルカ  
レヲ少モ念ニカケザルユヘニクニシ処ノ人モウラムルノスクナレト聖人トナクバ子ノ心ヲ

知ルヲカヤウニハアル ○子曰孰謂微生高直 魯國ノ人ニ姓ハ微生名ハ高ト云

タレバ不直ナ処ガアルトソノ事ハ下ニ直スルモ或乞醢焉乞諸其鄰而與之 微生高ガ

アル直トハマツスグデ少しモマカラヌトチヤ 或乞醢焉乞諸其鄰而與之 乞諸其鄰

家ハ醢ヲモラヒニ來タレバ手前ニモアリ食セズ隣家デモフテヤ切シハ不直ナレカチヤ  
是トシ非ヲ非トシ有ラアリトシ無ラナレトスルガ直チヤト評論スルハ入ニ細行ヲ

ト云フ ○巧言令色足恭 足恭トハウヤマイラスグスフチヤ詞ニナラサカセ良ヲ

デアアル 左丘明恥之丘亦恥之 左丘明ハ孔子ヨリ前ノ人テ世ニキコエタ人チヤ

ヒラタシス 左丘明恥之丘亦恥之 孔子ノ手前テ心ニハツル古入ニナソラヘテ

一説ニ左丘明ハ魯ノ大史テ孔子ニ春秋ヲウケタル人ト云 匿怨而友其人 ウラニア

ウラニアオシカクノ 左丘明恥之丘亦恥之 巧言令色匿怨ナドノハ何ユヘニ

レタシニミジハルヲ云 左丘明恥之丘亦恥之 カヤウニスルナレバソノ人ニ用ガハル

ユヘギヤコヒヘツラフテ手前ヘ利徳ヲトランドスル心底ヲカガヘテ見レバ穿窬ノ盜ヲ  
スルヨリモ恥シイフチヤ學者ニソノ心ヲ直ニセヨトノ戒メデアアル

曰... 解命語... 卷二







又簡ナレバ要ヲ得ルニ伯子ガ  
簡ナルヲ可ナリトノモフ  
仲弓曰居敬而行簡以臨其民不亦可

乎  
仲弓ガ料簡ニ夫子ノ可ナリト云ルモフヲウタガヒテ我ガ身ニツ敬ニ居テ内ニ主宰  
アレバ身オサマクテ嚴トスル内ヲ嚴トメ外ニ易簡ヲ行フテ民ニノソバムツカカ

ラズ民ノミタルウヘナクノ可ナルニアラ  
居簡而行簡無乃大簡乎  
大ハ去声  
ハナクト訓

ズコシハ内外ニ簡ナルニ大簡デアル子桑伯子ガ女冠セズノ夫子ニ逢タレバ入道ヲ  
牛馬ニ同シクスルトソシリ  
五ヒシ一ガ家語ニアル是カ大簡ト云モノチヤ

曰雍之言然  
論スル処ソノ意ヲ得タルニハ然リト至フ然リトハソウヂヤト

○哀公問弟子孰為好學  
哀公孔子ニ問フ諸弟子ノ中ニテ  
誰カ學問ヲコノムモノトスル  
孔子對

曰有顏回者好學  
顏子ノ死後ノ一ニテ  
不遷怒不貳過  
遷ハ移ナリト  
注ハ怒リヲウ

ツサマトハ怒ルベキモノヲイカリテ他ヘウツサヌヲチヤ喜怒ノモカラオコラヌヘデアアル怒  
ルベキヲ彼ガ方カラシカケルニソノモノヲ怒リ外ノモノハ怒ルベキトナキニイカリテ

ウツサヌハ怒ルニエ夫ノキビレイニチヤ腹ノ立マニ怒リイ家内中ヲシタルナドト云フハ  
ノレワザデアアル載ハカサヌルチヤ改メテマタセヌヲ云過アル時ハ改メテカサヌデアアル

不幸短命死矣  
不幸ハ顏子ニ于ニテ死ス命ハ天命チヤ  
今也則亡  
亡トハ死メ今ハ  
短命ハ三チガイ天命ト云フデアアル  
コト世ニナリト

○子華使於齊  
子華ハ魯ノ  
子公西赤也

冉子為其母請粟  
冉子ハ冉求チヤ其母ハ子華ガ母デア  
ル粟トハ米ノ一チヤ子華ガ使者

子曰與之釜  
夫子冉求ガ請  
ニヨリテ粟釜

子曰與之粟  
冉求一釜ハ余リノ多  
クナリト思ヒサシテ

五秉  
五秉ハ八十一斛チヤ今ノ七石ニ斗八升余ニアタル冉子庚ニテモ少シト  
子曰

赤之適齊也乘肥馬衣輕裘  
コレヨリ下ハ孔子ノスクナクアタヘマフワダ  
トキ又冉求ガ多クアタヘシヲソシリモフ

吾聞之也君子周急不繼富  
吾聞之ト  
ハ夫子ノキ

原思為之宰  
原思ハ孔子ノ弟子姓ハ原名ハ憲字ハ子思ト云  
與之粟九百

辭  
九百ノ一ハ分明ナラズ古注ニ八九百トアリソレバ今ノ三千五六石チヤ宰臣ノ俸祿  
ナルニハ原思ニアタヘラル原思ハ廉ナル人ニハ是ヲウケズ全クウケヌニテハアル

子曰母  
宰臣タルモク定リタル  
俸祿ナレバ辭スルヲナカレ

以與爾鄰里鄉黨乎  
五

多キヲ辭退  
宰臣タルモク定リタル  
俸祿ナレバ辭スルヲナカレ

以與爾鄰里鄉黨乎  
五

家



ヲ鄰トシ五鄰ヲ里トシ一萬二千五百家ヲ郷トシ五百家ヲ黨トス  
○子謂仲弓

曰多謂トハサレツテ云ハスウワサデアアル仲弓ノ父ハ賤ク行ヒノワルイ  
犁牛

之子駢且角 犁牛雜文ト注ノ一ダラヂヤ駢ハ赤色デアアル角トハツノ全クノカク  
ス尺寸モ礼ニカナフヲ云犁牛ノ一ダラウレノウニタル子ニテモ赤多

角モ全ク礼ニ 雖欲勿用山川其舍諸 山川トハ五岳四瀆ソノ余ノ山川ノ神宗廟ヲ  
カナフナラバ 雖欲勿用山川其舍諸 云是ヲマツルニ牛ヲ牲ニスルニテソノ牛

ニシリ也ノナイ一色ナルヲ用ユルチヤ周ハ赤キヲタツトムニハ駢牛ヲ供スルデアアル駢牛ニ  
ノ角モ全クバ親ハマダラ牛ナレバトテ山川ノ神コレヲウケテスノステモハヤトタトヘヲ引

テ仲弓ガ親ノアシキユニ賢才ノ ○子曰回也其心三月不違仁 三月トハソノ  
子ヲスツベキワケナイヲノモフ

タルモノニテ三月ニカギルニハアラズ違ハヌトハソノ心仁上一体ニテリテハナレヌトチヤ心カ仁ニタ  
ガ子ハ内外動靜ニナ仁デアアル顔子ハ聖人ニ近イユカクノ如クデアアルサレニ三月ホドノアタタ

直ニ仁ニナル 其餘則日月至焉而已矣 其餘トハ顔子ノ外ノ諸弟子ノ  
チヤ日月至ルルハ一日ニ度又ハ一月ニ

度仁ノ境界ニ至ルアレニ定タカナイ ○季康子問仲弓可使從政也與 仲由  
至ルカト思ハ直ニ去テ久シク居ルカチラヌ

子路ガチヤ從政トハ大夫トナレテ政事ヲトリ行ハスルデアアル魯ノ卿ノ季康子ガ夫子ニ  
仲由ヲ官長トスベキヤト問ラ季子コノ三子ヲ用シト思フニニ段々ソノ人カララツタルデアアル

一説ニ從トハ政ヲスルハ大夫ノコトニテハソノ下ニテ手ツタイラ 子曰由也果 果ハ果斷  
スルモノナレバ從政トシノコトニテ大夫ニハアラズトモ云フ

云フ城アケナヤ 於從政乎何有 何有トハ是ヲツトムルカノ余リアリテ多カシ  
スルコト 早イコトデアレ 於從政乎何有 カラヌコトデアアルトノ二段モコレト同シチヤ

曰賜也可使從政也與 賜子貢ガ名チヤ康子 曰賜也達於從政乎何  
又子貢ガオヲ問フ

有 達トハモノニサトクメ理ノ 曰求也可使從政也與 又再求ガノル  
オヲ問フ

政乎何有 藝ハ才能チヤ人ゴトニ得タ処ヲトルハ ○季氏使閔子騫爲費  
人ヲ用ユルヲ法アル三子ガリニ限ラヌ

宰 姓ノ閔名ハ撰字ハ子騫ト云孔子ノ弟子チヤ費ハ季氏ガ知行所ノ地名デアアルコト  
時季氏ガ彩色ニオイテ公山弗擾ラガ季氏ヲムイテ從ハヌ子騫ガ賢徳アルヲ

キ、我が知行所ノ奉行ニコトヲ騫動ラ 閔子騫曰善爲我辭焉 子騫季氏ガ  
オサメシタメニ我ヲフカハシ登デアアル

イマニ思シ使者ニ向テ我がタメニ 如有復我者 則吾必在汶上矣  
辭退ノヨキヤウニトハリ云ヘ

汶水魯ノ北ニタリ 齊ノ南ニアル川ノ名チヤ子騫コト 時魯國ニアルニ井テ我ヲヨハント  
オラ北ノ方汶水ヲワタリテ齊國ニ入ントワカニシキ意ヲ示ステアル子路ガ衛ニ死シ再求ガ附益

スルノ類 ○伯牛有疾 伯牛ハ字ニテ姓ハ冉名ハ耕ト云 子問之 孔子ノ三ヒニ  
アラズ

執其手 牖ハ南ニキノ窓ニヤ君子ノヤメルトキハ北壁ノモトニ子テ翹首ニスルハ古  
礼デアアル今テ夫子、來テ病ヲトヒ玉フニ牖ヲ南窓ノモトヘツツレテ夫子ヲ

南面ノ病者ニムカヒ玉フヤウニスルハ君臣ノ礼チヤ孔子ソノ礼ニアタラスノ室ニ入ラス  
ヨリ伯牛ガ手ヲトリ玉フヌ説ニ伯牛ハ人ノキラフ病ナルニ人ニ逢フヲイヤカルヨリ室ニ

ヨリ伯牛ガ手ヲトリ玉フヌ説ニ伯牛ハ人ノキラフ病ナルニ人ニ逢フヲイヤカルヨリ室ニ

ヨリ伯牛ガ手ヲトリ玉フヌ説ニ伯牛ハ人ノキラフ病ナルニ人ニ逢フヲイヤカルヨリ室ニ

ヨリ伯牛ガ手ヲトリ玉フヌ説ニ伯牛ハ人ノキラフ病ナルニ人ニ逢フヲイヤカルヨリ室ニ



ヘリ玉ハズ 曰亡之

夫子曰ヨリ伯牛が手ヲトリテ 養生ガナフニシトノ至フ

命矣夫

天命ナレバセニ方モ ナイトヲヤト下ニ

詳ニ 斯人也而有斯疾也 斯人也而有斯疾也

斯人ハ伯牛ヲサス 天命ナル者 カクノ如キ才徳アル外ノ伯

牛ニノカクノカクナル惡疾アリテ死ニゾムコトハゼイモ

○子曰賢哉回也

顔子ノ徳行

一簞食一瓢飲在陋巷

簞ハ竹ニテツクリタル器ノ名ニテ食ハイヒヤ瓢ハヒラ

貧ナル 人不堪其憂

ナミクノ人ナラバカハル貧

回也不改其樂

顔子ハヨイウツワモ

タルメレヒツクベニ水ヲ入レテ朝夕ヲオクリスニ処ハト云ハセニイ小路ニイレモ先王ノ道ヲ

イマノ惡事ヲモスルヤウチリユクフナレ顔子ハタタニ改メ賢哉回也 賢哉回也

フタビノ至フ嘆美ノフカキデアアルコト顔子ノタノレニハイカナルゾト云ニ

○冉求曰非不

力不足者中道而廢 實ニ力ノタラヌモノハナリクケルカ用イ中道ニ至リモハヤキニ

今女畫

畫ルトハ地ニチラヒキテカキリラスルコト也今女畫 今女畫

○子曰

子夏曰女爲君子儒 無爲小人

子曰女爲君子儒

儒ハ名利ノタメニスル學問ヲ小人儒ト云儒ハ濡字ノ義ニテウルホスト訓スニハヒテ

身中ニ濡潤スルユニ久レクナラヒ熱シタル學者ノ稱デアル子夏ノ人トナリ小事ニカハル

○子游爲武城宰

子游魯ニツクテ武城ト云フ地ヲ奉行トナル 子曰女得久焉爾乎

人ヲ得テ下役トシ又ハ往來ノレヒ合セバナラヌ

曰有澹臺滅明者

澹臺ハ姓トシ滅

行不由徑

滅明ハ正直ナル人ナレ道ヲユクモ常ニ大道ヲユキテ徑ノホキ

非ハ公事未嘗至於偃之室也

偃子游ガ名ツ子ノ人デアラス子游ハ代官ノ

モノナレハ郷飲酒祀郷社又ハ郷人ヲアツメテ法令ヲヨキカスル公事ノ表ムキノコトナ

○子曰孟之反不

ノコリテレハヒスルコトヤ魯ノ哀公ノ十二年ニ齊トタカヒ軍ヤレテ

ニク時ニ孟之反一人アトヲトシテリシガリノ敵ヲフキ軍ヲ事ニテク引上リ

曰非敢後也馬不進也

後ヲオクレルトヨムハワルクオクレルトヨムハ去声ニナルコトハ字ノミニテ

シタヲキガラチヤト云ハントスルヲニテ手前カラオレハ跡ニフミトニリテレハヒス

スル心デナケレ馬カスニヌセウコトナク跡ヲリタリト云モハ功ニホコラスアアル

○子曰不



有祝鮀之佞

祝鮀名子魚上衛大夫佞也

而有宋朝之美

宋朝名子魚上衛大夫佞也

子朝名子魚上衛大夫佞也

難乎免於今之世矣

曰誰能出不由戶何莫由斯道也

子貢曰誰能出不由戶何莫由斯道也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也

子曰道之遠也人乎道之遠也







○子曰中庸之為德也其至

矣乎中ハ過不及ノキヲ稱ト主ノスキモセズ不彫モナキヲ云庸ハ平常ナリトナルハイッ民鮮久矣

後世至テハ民ヨリ徳アルヘクスクナキ○子貢曰若有博施於民而能濟眾何如可

謂仁乎子貢トヒテ設テモレ人ヨクヒロク恩惠ヲ民ニホドコシテシキラスクワリ子曰何事於

仁子貢トヒノ如キハナゾ仁ト云フ事トセシ仁者トスルニエリ必也聖乎堯舜其猶病諸

至聖至ハカタクキヲニテ堯舜ノ夫仁者己欲立而立人己欲達而達人

己欲達而達人達ストハ心ニ思フ外得ズト云フナク行フトテ我身我身ノタタニスル如クニスル已欲達而達人ズト云フナキヲ云コレモ我カ子ガヒノソムルユヘ

人人ヲモ達ノヤルカクク如ク我ヲ能近取譬可謂仁之方也已譬トハクテベルノナヤ達ク

身身ニニキクラベテ立達ハ我ガ欲スル如クナルユヘ人モカクアツト思思ヤリテトゲサルヲ仁ノ方術トシテ怨ヲトハル仁ヲ求ルキカキ

四書國字辨論語卷三

四書國字辨論語卷四

述而第七コ篇ハ多ク聖人己ヲアリクダリ人ヲオヒルノ詞

子曰述而不作述ストハ舊章ヲツタフルルヲ言ハ孔子ヨリ以前ノ聖人ノ制傳アリシ

先王先王ノ道ヲ多ヘテ述者ヲ作者トラスト謙ノ至也信而好古信トハ古ノ道ヲ

賢大夫賢大夫ニテ老ハタツトデツケタモノガヤ又老彭ハ堯帝ノ時ニ彭城ニ封セラレ虞夏商周ヲ經テ詩

七百六十七歳七百六十七歳ヨリテ老彭ト云ト莊子ニ彭祖ト云モノ也又老子也又老子也又老彭ハ堯帝ノ時ニ彭城ニ封セラレ虞夏商周ヲ經テ詩

位位ナキニ傳述ガリ子曰默而識之默トハ言志トアルハ去テシテス

身身ニトリ守ルルヲ言ハ又ノ説ニ識知トアルハ声モシヨクシキニテシト訓ス學而不厭不厭

何有於我哉何有於我哉

子曰德之不脩德ヲオサムトハ我が心ノ私欲ヲステ

學之不講講ハ講習ヲ言ハスルヲ言ハ學問ト云モ

德德ハオサメテ後ニ成ル孔子ニツカラ學之不講講ハ講習ヲ言ハスルヲ言ハ學問ト云モ

德德ハオサメテ後ニ成ル孔子ニツカラ學之不講講ハ講習ヲ言ハスルヲ言ハ學問ト云モ



ソウニタツ子トヒ吟味ノアキマ 聞義不能徒 ワガスル処ヨリ少シモニサリタルハ己ガスル

トクトウカヒナイヤニスルイヤ 不善不能改 我が身不善ノアレバスニヤカニヤノ

講習スルナラス義ヲキテモ徒ル 是吾憂也 上ニアル四ツノ一ヲヨクセザルヲウレトシモフ

フ云夫子ノ燕居ノ時ノ容貌ヲ 申申如也 申カカチノノノトシタ

ドリタルモノヤ申申イヒツクサレヌハ大々ヲ云テアルツ子ノ人オラバ燕居

ノ時ハ心モユリ怠惰放肆テリスツト今嚴トスル聖人ノ象ノ常人ニモガタク如ク ○子曰甚矣吾

衰也 夫子ノワカイ時カラ周公ノ道ヲ行ヒ天下ノ民ヲスクハント思ヒソノ徳ヲ

周公 モハヤ道ノ行ハルニシキヲレリ玉ヒテノチハコノユメヲミヌ ○子曰志於道 心ノユク

ハ人トノ日用ノアイダ行ハデカチヌ又処ノモノデアルコトヲ知テ心コレニオモク時ハソク

據於徳 據ルハトリ守テウレハヌ ○子曰依於仁 依

ノ心ニ得ル処ヲヨクトリ守テウレハヌトキハ始終一定ノ久ラス日々ニ新ナルノ効アルデ

藝 遊ラトハ物ヲモテアソビテ情ニカチル ○子曰行東脩以上吾未嘗無誨焉 東脩トハ脩ハ

タリテ心モトハナレニナス内外 ○子曰自行束脩以上吾未嘗無誨焉

一東八十 東トハ肉ヲキレアミツタタルヲ云古ノ人ハヒメテ相アラニ必ズ贄ヲトリテ礼トス東脩ハ贄

ナシモレ東脩ノ礼ヲ行フヨリ以上ノ来リ ○子曰不憤不啟

アル学者オレヲウクル質地ナケレバ時雨ノ穰ナキ地ニクダ

イヒ得ヌ云ソノ人道理ヲイハント思ヘバ ○子曰食於有喪者之

側未嘗飽 夫子喪アル家ノカタカラニ食シ玉フトキハ

タル日ヲ云哭ハカチレニ至リ夫子人ノ喪ヲ吊ヒタル日ノ内ハ哀イニダワスレザルユウタウタ

玉ハスト聖人ツトメテカヤウシシマフラス自然ナル如カ仁チヤ學問ヲスルモノコレヲノコラ法トノツム

○子曰顔淵曰用之則行舍之則藏 聖人ヒロク世ヲスクウ心切ナレ

是夫 コノコトヲヨクスルモノハタタ孔子ト顔子トガリヤトユレ玉フ

子路曰子行三

惟我與爾有

子路曰子行三

惟我與爾有

子路曰子行三

惟我與爾有



軍則誰與

天子ハ六軍 大國ハ三軍 小國ハ一軍 軍トハ二萬二千五百人ヲ云 夫子ノ顔淵ヲ

將帥トナリ 王ヲチラスバ 必ズ吾トトモニ 子曰 暴虎馮河死而無悔者 吾不與也 暴虎

手ニテ虎ニ向フヲ云 馮河トハ 舟ヲカチワタリスルヲ云 虎ニ向フニハ 矢ヲ用セシメ 大

河ヲワタルニハ 舟ヲ支度スルヲ云 虎ニ向フニハ 大カチワタリノ無益ノ死ヲスル

ヤウナルモノニハ 必也 臨事而懼 好謀而成者也 臨事而懼トハ 軍爭ヲオモシメ 大切ニスルヲ

勇ヲコソムヲオサシタメニ 至フ詞 子曰 富而可求也 雖執鞭之士 吾亦為之

執鞭トハ 周礼ニ出タル 鞭ヲトリテ 人ヲハラフ役人ニテ サキハラヒテ アル王ニハ 八人 公ニハ 六人 侯伯ニハ 四人

子躬ニハ 二人 アル 貧富ハ 三ナ 天命ヲバ 求メテ 得ラズモ 己モ 求メテ 得ラルモノナラバ 執鞭ノイヤキ

役ナリ 吾ニ 辭セズノ是ヲ 如不可求 從吾所好 コム処ノ義理ニシテ 分テ 貧ニヤスシオチ

イテ 居ント世ノ富貴ヲムサボルモノ 子曰 子之所慎 齊戰疾 齊ハ 二ツリノモノイニ 祭祀セント 欲

タメニ 此ノ詞ヲ 設ケサトシテ 至フテアル 〇子之所慎 齊戰疾 齊ハ 二ツリノモノイニ 祭祀セント 欲

シ坐ラウツシテ 三ツカラ 齊 敬ノ至ルト 至ラザルト 神ノ祭ヲウクルトケサルトハ 祭ニ

カハルチヤ 戰ハイクサチヤ 而刃相交リ 生命モ 傾キ 生死ノカル処コレヨリ オモキモノナシ 疾ハ

我が身ノ存亡ヲガ身ハ 父母ノ遺体ナルニ 一トワケテ 大切ニスル 〇子在齊聞韶三月 韶 舜

名舜ノ徳ニカタドリテ 善ツクシ美ツクス処ノ樂アル 夫子ノ時分ニハ スタレテ 知ルモノナカリ

ニニ 齊ニガチナル時ヲ 樂キキテ 三月ト史記ニアルノカクノ如クナレバ 月字ヲ句トス 不知

肉味 肉味ノヨシアレバ 王ハズ 曰不圖為樂之至於斯也 韶樂ノ美ナルヲカホド

ニト 嘆美シテ 善美ヲシルルハ 〇冉有曰夫子為衛君乎 為ハ 助ノゴトニシテ 助スルト訓ス

聖人ニアラスバ カクノ如クナラヤト 〇冉有曰夫子為衛君乎 為ハ 助ノゴトニシテ 助スルト訓ス

〇魯公問 子貢曰 吾將問之 夫子曰 吾將問之 夫子曰 吾將問之 夫子曰 吾將問之

叔齊何人也 内ニテ 輒ガハ 八問ズ 伯夷叔齊ノ人トナリ 問ハソノ 國ニハ 夫夫ヲシラズ

王ノ子チヤ 父ノ卒スル時 弟ノ叔齊ニ位ヲユヅリシガ 父卒ノ叔齊ハ 天倫ヲミダルベカラズトテ 兄

ノ伯夷ニツル 伯夷ハ 父ノ命ヲソムクニシトテ 國ヲスルノガレサル 叔齊モ 去リタリ 兄弟國ヲ

アヒタルト 今 衛君ハ 父子國ヲアラフツトノ 曰古之賢人也 互ニ國ヲイリ合タル 夷齊ヲ賢人

相ソムキタルヲ アゲテ タスクク 曰古之賢人也 互ニ國ヲイリ合タル 夷齊ヲ賢人



食飲水

疏食ハクロコメノメシ貧窮ニテ粗飯ヲクヒ水ヲシテ渴ヲタスクト

曲肱而枕

之

樂亦在其中矣

道ヲタクシテ志ヲ外ヘツサズ

不義而富

且貴於我如浮雲

夫子ノ不義ノ富貴ヲミタテテ浮雲ノ定ニリナキガ如クアルカト

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

加假起近キ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣

易ト五ノトハ字體ノ似タルヨリ誤リタリト夫子トシヨリ至テ易ヲニシテ



亦三ナコレヲ師トスベキナリ。○書ニ云ク能ク自ラ師ヲ得ル者ハ貴シト然レバワレ自師ヲ取リ得ルヲ以テ主トスベシモレゾ善ヲナシ惡ヲ改メント期スルノ念ナクハ多ク不善ヲ見テ改ルアタカナルノミマス日々ニ善人ト共ニ居ル亦コレニ從フアタハ況ヤ同行ノレバクヲヤ朱子ノ云ク人モ自修ルヲ以テ心トスル時ハ天下ノ萬物ヲアゲテ凡ソ前感スルアアル者ワガ義理ノ正キヲ発スルニタラズ

○子曰天生德於予桓魋其如予何

桓魋ハ宋ノ司馬ナリ夫子宋ニト云フナシ

○子曰天生德於予桓魋其如予何 桓魋ハ宋ノ司馬ナリ夫子宋ニト云フナシ 害セントス夫子レノ位テ宋ヲ去リテ其時供レタル弟子ハナダラソレテ夫子ニイソイテ去ラセモトイヒケルニヨリテ此語ヲ以テ夫子レニ答テ衆ノ心ヲ安セシメ至ルナリ云意ハ天ステニ我ニ賦生スルカクノ如クナル徳ヲ以テ是レ時ハ桓魋ソレヲイカハ

○子曰三子以我爲隱乎吾

無隱乎爾

三子トハ諸弟子ヲ言ヒカケテノ詞ナリ諸子夫子ノ道高妙深遠ニハナハタ及ビガタキヲ見テソレカクレテアラハサブル歎アルカト疑フコレ聖人ノ動靜語黙ス

吾無行而不與三子

テ教ニアラズト云フナキヲ知ラザレバナリコノ故コレヲ以テツゲ

者是丘也

吾ハツ子ノノスル歎一ツトナシテアラハレ示サズト云フナキ者ナリ此外ニ何カア

ナレ聖人コレガ形體トナリ動靜云爲ヲ以テコノ道ヲアラハレ示シテ月星辰ノ上ニカカリ山川草木ノ下ニツラナリ寒暑晝夜ノカハルメグリテ天地ノ道昭然トモカクシナキガ如シ人ニツカラコレヲ察セザルノ三程子オモヘラク聖人レヲノモフヲタタ資質庸下ナル者ヲメツトメテ思ヒクハダテ及バシムルノニアラズ又オモヒ高邁ナル者ヲモ亦アヘテニアナドリテスミザラレメン

○子以四教文行忠信

夫子ノ入ヲ教ルニ文ヲ學ヒ行ヲ修メテ忠信ヲ存スル四ツノ者ヲ以テス忠信ハ其モトヒナリ但忠ハ實心信實

事首尾未表ノ如シニ記ナレハ兩ハ此理ヲ心根ツケントナリ孔門ノ教博文約礼ヲ以テ手ノ下ニ功ヲ用ルノ常法トス文ヲ學ブハ博文ナリ行ヲ修ルハ約礼ナリ此ニツノ者又忠信ヲ主トセザレバ知ル所ニナシ虚見テノ行ヲ修メテ虚文ナリヨリテ

子曰聖人吾不得而見之矣

君子ハ才徳衆

子曰善人吾不得而見之矣

此子白ノ二字ハ

此章世クダリテヨキ人ノマレナルヲ嘆ケリ 得見君子者斯可矣 君子ハ才徳衆 聖人ハ其徳神明ヲハカラレザルノ稱ナリ 得見有恒者斯可矣 有恒トハ其心ヲニツキセモノカハラザル義ナリコレ亦オモヒクシ

泰難乎有恒矣

トハ仁志レテ悪ナキヲ云コレ資質ヲ主トノイハ亦全ク學ビザル人ニモ

コレニナリニ其實ナクノ外ヲカサリ人ニラゴルノ事ナリカヤクノ類ハ三ナ其常ヲ守ルアタハズノカハリヤスレヨリテツ子アルヲカタシトノ至ヘリ此段上三聖人ヨリシテニクダリ有恒ニ至リテハ最下等ナルニコレサヘ得ガタキニ

子曰射宿

テ居ル鳥ナリ此ニツハ物ヲ取ル中ニモ物ヲ愛スル意アルヲ云○洪武

オモヘラク孔子ワカ、リシ時貧賤ナリコノ故ニ祭祀ニソナヘガタメ又ハ老ヲヤシナヒ客ヲモテナサシガタメニハ漁獵シ玉ヘルアノサレド物ヲツクシテトリ其知ラザルヲウカヒテトトルナドハ



至ハズコレ仁人ノ本意ヲ見ズレバ物ヲケルカクノ如クナレ

○子曰蓋有不知

而作之者我無是也

云意ハ蓋レ世ニ其理ヲ知ラズノ事ヲ作ス者モアルベシ我ニリ

見而識之知之次也

聞クト見ルトハ互ニ相通ズソノ從フ所ハヨクエラフヘキ故ニ善ヲエラフ

見而識之知之次也

聞クト見ルトハ互ニ相通ズソノ從フ所ハヨクエラフヘキ故ニ善ヲエラフ

カクノ如クナルハイマダ上知ハアラザレドホ

○互郷難與言

互郷ハ郷ノ名ソノ郷ノ人

童子見

アル時互郷ノ童子來リテ

門人惑

諸弟子夫子ノコレアヒモフ

其進也不與其退也唯何甚人潔已以進與其潔也不保其往也

此段疑

簡アルベシ人潔已ト云ヨリ程ヲ與其進也ト云ノ前ヲキテ見ルベシ潔已トハ進見ヲ求メシタメニ

其身ヲオサメトノテツクシムルヲ保ストハ俗ニウケアフト云義ナリ往ハ前日ナリ至意ハ人モ

レ已ヲオサメテ以テ進來スレバ其オサムル也ニルコトニアフ前日ノ善惡ニテ保テラコトニアラ

字ノ上下ニモ亦疑ラクハ關文アラシ大據已甚キヲモザルノ意ナリ此句上ヲウケテ然ルニ今ノ一

子曰仁遠乎哉

仁徳得カタキ故ニ

我欲仁斯仁至矣

仁ハ人心ノ徳ニテ外ニアル者ニアラス故ニ求メザル故ニ

得メク欲スレバ即チ此レノアリ豈ソレ遠キ者ナラシヤ一タヒウレナヒタル者忽然トノ即コニアリテ

外ヨリ至レルガ如クナル故ニ至ルトハ云ナリ○朱子オモラク我レヲ欲スレバ仁コトニ至ル何ゾカクノ如

敗問昭公知禮乎

陳ハ國ノ名司敗官ノ名陳楚二國ニハ司寇ヲヨシテ司敗ト云ナリ昭

孔子曰知禮

昭公威儀ノ礼節ニ習ヘル

而進之曰

巫馬期ハ孔子ノ弟子姓ハ巫馬名ハ施字ハ子期揖而

子亦黨乎

君子ハ孔子ニアテイヘリ黨ストハ

君取於吳為同姓謂之吳孟子

君而取於魯為同姓謂之魯孟子

有過人必知之

人ハ人ノ過ヲキカサレバアラタメズグルヲ幸アル者ナリモレアセシツアレバ

昭公トナリテ礼知レリト云世ニタ

巫馬期以告

司敗ガソレリヲ

子曰丘也幸苟

有過人必知之



サズルノ玉ハ又同姓ヲメトルヲ以テ礼シレリトセラザル故ニ只ツレリヲウケテワカ過チトシモヘルナリ。吳氏オモテク魯ハ夫子ノ父母ノ國昭公魯ノ先君ナリ司敗又其事ヲアラハサズノ只礼知レリヤト問ケル故ニ夫子ノ答モフ歟ムナリ司敗黨スルヲアリヤト云ニ及ンデ直ニウケテ過トス而亦ツノケヤニん故ヲ辨ゼズコレ其盛徳時ニ中ノ可ナラズト云歟ナレト云トニ以テ萬世ノ法トスベシ

○子與人歌而善曲優柔平中必使反之テカノヨキ歟ヲツサキ

而後和之ルヲヨロコビ又人ノヨキヲタスケテイヨクスマシメモルナリ

○子曰文莫吾猶人也文ハ言語ノアヤナセルヲ云莫ラシカトハ疑フ詞吾猶人トハ

有得相ヨビ躬行君子則吾未之有得躬行君子トハ君子ノ道ヲ一タコレヲ身ニ体シテ

○子曰若聖與仁則吾豈敢聖ハ大イニノ化スル稱蓋シテ徳盛ナルヲキハメテ又

抑爲之不厭誨人不倦則可謂云爾已

矣抑トハ上文ノカヘン下ニウツルノ詞ナリソノ爲ブト誨ルモ亦仁聖ノ道ヲ學ビ教ルナリ

華曰正唯弟子不能學也即此タコノコソ弟子タル者ノ學フノアタハサル歟ナレ

厄ツノ厭ハス倦ザルハ身ニ仁聖ノ徳アルニアラザレバアタハサルナルヨリテ公西華コレヲキントリテ贊嘆シケルナリ。吳氏オモテクソノカミ夫子ヲ聖ニノ又仁ナリト稱スル者アリコノ故ニ夫子コレヲ辭ササレ尺コレヲ辭スルノミナレバ天下ノオラスメ天下ノ善ヲヒキ井ルニ由ナシ入ラノ聖トトテ

虚器トノツイニヨク至ルナカラシメントスヨリテ夫子ノモフカクノ如ク公西華モ亦此意ヲ知テコレヲ嘆ズト又前章ニ學ンデ厭ハス謙テ倦ザルヲ以テ何カ我ニアルトノモフハ尺没ク謙退シモヘル詞ナリコニ又此ヲ以テ自ユレモフハ仁聖ヲ以テワレ歸スルヨリノ第二等ノ仁聖ヲ辭シ第三等ノフヲ以テ自ウケアタリモフ

○子疾病病トハ疾ノオモ子路請禱鬼神ニ

子曰有諸疾病ノタメニイリラスルノ理アリヤト子路對曰有之

子曰禱爾于上下神祇誅トハ人ノ死ヲカナシテソノ行跡ヲノブル文章ノ名上下ハ天地

諫詞ニタク云ヘルノアリトナリ今夫子ヲ天地ノ神ニイラントニアラス

子曰丘之禱久矣子路夫

行ヲ歟ラノツカラ神明ノ心ニカナヘル故ニ丘ガ禱ル久シトノ玉ヘルナリサレド古礼ニ疾病ナル時鬼神ニイノルヲアリコハ尺臣子タル者憂ニセリタルミニ君父ノ命ヲノベニイノルナリ病者ノ心ヲウケテスルヲアラズヨリテ夫子タバチ子路ノ請フ歟ヲフモガズノ但今ニアタリテ禱ヲ事トスル歟ナキノ意ヲツゲモフナリ一説ニ夫子平常戒慎恐懼ノ鬼神ニ罪ヲ得サラシトスルヲ時トノ

子路對曰有之

子曰禱爾于上下神祇

子曰有諸

子曰禱爾于上下神祇

子曰有諸

子曰禱爾于上下神祇

子曰有諸

子曰禱爾于上下神祇

子曰有諸

子曰禱爾于上下神祇



然ラスト云ナキ意ラバ五ガ禱ル久シトモラ然レバ今コトサラニ又  
禱ルキヤウモナレトノ意ナリト此説長セル似タリ本註ニ孔安國ガ説ラトリ

孫不孫トハホレイマテ 儉則固儉ハ儉約ナリ固シトハ 與其不孫也寧固儉ハ及ハ  
スノ皆中道ヲ失サレド奢ハ礼法ヲ犯ノ禍ニカレトス固ハ固陋ニ止ルノミ

ヨリテノモラフカクノ如シ○晁氏ノ云クヤムラエズノ時ノ弊ヲスクヘリ

蕩蕩坦ハ心術ノヤスラカナルヲ云蕩々ハユタカニロキ見ナリ君子ハ只道理ニ 小人長戚戚

長トハ常久ノ義戚々ハウレヘイタムナリ小人ハ外物ニカハルハ故ニ時トモ得失ヲハカフスト云フナレヨ

リテ常ニ戚々タルノミナリ○君子ハ憂患ノ中ニモ亦樂ム意アリ小人ハ安樂ノ中ニモ亦常ニ憂戚ヲ

ワス ○子温而厲威而不猛恭而安温トハ顔色ヲ以テ云威アルト恭キトハ一身ヲ

ナルト不猛ト安キトハ各其中ヨリクハシク見イダレテコレヲイヘリ凡ソ人ノ徳性モトシナハラスト云

ナレ然レモ氣質ノシク弱人ゴトニ偏ナリ只聖人ノ陰陽徳ヲ合セテ其質偏ナラズ全体渾然

トノ其徳カ子ソナハルヨリテ中正和順ノ氣ヲツカフ容貌ノ間ニアラハルヘカクノ如シ門人ツラ

サニソナハノ詳ニシテ記セリ亦ソノ心ヲ用ルヘノ稟密ナルヲ見ツベシ抑知以テ聖人ヲ知

ニタリテヨク徳行ヲ云者ニアラスコレヲ記スフアタヒコノ故ニ程子オモラク曾子ノ言ナラシ受者

ヨシク及復ノ心ニモテアソフベキ歟ナリ○或人トフ此章ハコレスベテ聖人ノ容貌ヲ云郷黨ハ

コレ事上ヲ逐テ説ヤ

否ヤ朱子ノ云ク然リ

泰伯第八

子曰泰伯其可謂至德也已矣

次ハ仲雍次ハ季歴ソノカニ商ヤウヤクニオトロヘテ周日々ニ強大ナリ季歴又子昌ヲ生テ

徳アリヨリテ太王商ヲホロボレ周ヲオコサシノ志アリ泰伯君臣ノ常道ヲ守リテ其志ニシ

タガハズ太王ツイニ位ヲ季歴ニツタヘテ孫昌ニ及サントス泰伯コレヲ知テ弟ノ仲雍ト共ニガレ去

荆蠻ニユキテカヘラスコニライテ太王スナハチ季歴ヲ立テ國ヲツタヘ昌ニ至テ天下ヲ三分ノ

其ニツラタモツコレヲ文王トス文王崩ノ子發立ツ遂ニ商紂ヲウチテ天下ヲタモツコレヲ武

王トス此章夫子泰伯ヲ贊美ノ至徳ト云其徳至極ノサラニ加フベキナレトナリ義ハ下文ニ

見ヘタリ其トハ必然ノ詞已矣トハ他

ナキノ詞至徳トイハニサハリナレトナリ

三以天下讓民無得而稱焉

○子曰恭而無禮則勞

恭ハ善行ナリトイヘ礼節ニカチハズノスグル時ハ慎而

自苦勞スルツイエアリト下ノ句義ニナコレニ同シ

○子曰無禮則亂

乱トハ上ヲカシ

直而無禮則

勇而無禮則亂

乱トハ上ヲカシ

○子曰恭而無禮則勞

恭ハ善行ナリトイヘ礼節ニカチハズノスグル時ハ慎而

自苦勞スルツイエアリト下ノ句義ニナコレニ同シ

○子曰無禮則亂

乱トハ上ヲカシ

直而無禮則

勇而無禮則亂

乱トハ上ヲカシ

○子曰恭而無禮則勞

恭ハ善行ナリトイヘ礼節ニカチハズノスグル時ハ慎而

自苦勞スルツイエアリト下ノ句義ニナコレニ同シ

○子曰無禮則亂

乱トハ上ヲカシ

直而無禮則

勇而無禮則亂

乱トハ上ヲカシ

○子曰恭而無禮則勞

恭ハ善行ナリトイヘ礼節ニカチハズノスグル時ハ慎而



絞トハ緊急迫切君子篤於親則民興於仁君子ハ上ニアルヲ入ラシメ君子ノ親族ニ恩愛ヲアツク

スレバ下民己之感ノホ仁道ヲオコシラコナク故舊不遺則民不偷故舊ハ朋友臣屬ノフルキヨレシアル者ヲ云フソノ舊好ヲワスレズメナガクステ

ヲカザル時ハ民亦己之化ノ風俗ウスカラヌナリコレ上文ノ恭慎窮節ヲヨク礼ニカナハハ勞患乱絞ノツイエナキト同シ理ナルヨリテアハセ記セリ又吳氏オモヘラク此章君子ト云ヨリ以下

ヲ別ニ章トスベシ曾子ノ言ナラシトモコトニ其文義上ト相ウケズノ曾子ノ慎終追遠民德歸厚矣トイハルニ意相類ス吳氏ノ説然ルベシト集註モイヘリ

○曾子有疾召門弟子曰啟予足啟予手手足ヲオホヘル食ヲヒラカセ身樹ヲ死セトスル時ナリ

詩云戰戰兢兢如臨深淵如履薄冰詩ハ小雅小異ノ篇ノ詞戰々ハ恐懼ノ義兢兢ハ戒慎ノ義曾子身ヲ保ツ

ノカタキライハシトテ此詩ヲ引ギテイハラクワレ常ニ戒慎恐懼ノ身ヲ守ルル深キ淵ニゴズンデオチシララソレ薄キ氷ヲフンデオチイラシラソルル如クメトナリ

吾知免夫今死ニゴズム時ニテニカクノ如ク戒懼ノ而ノ後ニ小子小子ハ即門弟子ナリステ

ヲヨビカケテクリカヘシ子ゴロナル意ヲ知ラセリソノ門人ヲサトセル意深切ナリ凡ソノ人ノ子タル者父母ニウケタル身体ヲソコナヒフラスノヲハルルモトヨレカタシ況ヤソノ行実ヲケガシ

テ親ヲハツカシメザルヲヤモシ行実ニキスツケルアバ臨終ノ時身体全キノミヲ以テ人ニ示シテ教トセラルベケンヤサレド古人ノ學ハ内外一致ナリ外ヲ云時ハ内スナハ其中心ニアリ更ニ心ヲ

奪ラマズ曾子ノ手足ヲヒラカセラレタルハ其行ニカクルナキ上ニテノトト知ルベシ

○曾子有疾孟敬子問之

其鳴也哀鳥ハ死ヲラソル故ニ死ナド人之將死其言也善人ハ萬物ノ靈ナルヨリテ死ニツク時

君子所貴乎道者三孟敬子ハ魯ノ大夫孟孫氏名ハ捷敬ト謚ス孟武伯ガ子ナリ曾子ノモトニキテ其疾ヲトヒウカフ

曾子曰言ハワガ方鳥之將死

其鳴也哀鳥ハ死ヲラソル故ニ死ナド人之將死其言也善人ハ萬物ノ靈ナルヨリテ死ニツク時

君子所貴乎道者三孟敬子ハ魯ノ大夫孟孫氏名ハ捷敬ト謚ス孟武伯ガ子ナリ曾子ノモトニキテ其疾ヲトヒウカフ

曾子曰言ハワガ方鳥之將死其鳴也哀鳥ハ死ヲラソル故ニ死ナド

人之將死其言也善人ハ萬物ノ靈ナルヨリテ死ニツク時

君子所貴乎道者三孟敬子ハ魯ノ大夫孟孫氏名ハ捷敬ト謚ス孟武伯ガ子ナリ曾子ノモトニキテ其疾ヲトヒウカフ

曾子曰言ハワガ方鳥之將死其鳴也哀鳥ハ死ヲラソル故ニ死ナド

人之將死其言也善人ハ萬物ノ靈ナルヨリテ死ニツク時

君子所貴乎道者三孟敬子ハ魯ノ大夫孟孫氏名ハ捷敬ト謚ス孟武伯ガ子ナリ曾子ノモトニキテ其疾ヲトヒウカフ

曾子曰言ハワガ方鳥之將死其鳴也哀鳥ハ死ヲラソル故ニ死ナド

人之將死其言也善人ハ萬物ノ靈ナルヨリテ死ニツク時

君子所貴乎道者三孟敬子ハ魯ノ大夫孟孫氏名ハ捷敬ト謚ス孟武伯ガ子ナリ曾子ノモトニキテ其疾ヲトヒウカフ



ハメントノ入ニトロハカレフ或ハ已ガ能スル **以多問於寡** ソノ學ビ得ル或ステニ多クトイヘモナラツクサバ凡或アル故ニ識ルトス

クナキ人ニモ **有若無** ガ能ラ以テ不能ニ **實若虛** 多ク以テ寡ニトフカサニテトク

ノ云時ハ有ナリ **犯而不校** 是非曲直ヲハカラスコレ亦入我ヘテテキナリ **昔**

**者吾友嘗從事於斯矣** 昔者吾友トハ顔子ノ死後ニイハナリ嘗テ事於斯矣

リ○程子オモフク人ノ犯スルモレ校ルベキ **曾子曰可以託六尺之孤** 此章大臣ノ

大事ナラバ理ニシタガヒテコレ應ズベシト 託クルトハタノニラク義ナリ六尺トハ周禮ニ十五歳ノ男子ヲ云六尺ハ今ノ四尺餘ナリ孤ハ父ナキノ

稱云意ハコニ人ノ臣アラニ其オ先君卒スル時幼君ヲモリタテ其身ヲタモチ其徳ヲナスコトヲ

以テ遺託 **可以寄百里之命** 寄スルモアツケラク義ナリ百里トハ諸侯ノ大國ヲ云其

セラルベキ **臨大節而不可奪也** 大ナル節義ニゾシテモ死ラ以テコレヲ守リテ人ニハレウ

テナリ **君子人與君子人也** 君子ハオ徳カ子ツナハル稱

詞云意ハカヤウノ臣ハ君子タル人歟 **曾子曰士不可**

詞ヲマウクルハフカク其必然タルコトヲアラハセルナリ **以不弘毅** 弘ハ徳量ノユタカニヒキゾ

遠 任ハ荷ト云義ナリ其ノ負ラズノ任オモクノ又コト或ノ道トキソレトシ一ニサニ毅ナル **仁**

以爲已任不亦重乎 己任重キ實ラトク仁ハ人心ノ全徳ニノ萬善ヲスベタリ然レラ己ガ

死而後已不亦遠乎 コレ道遠キ実ラトクヒラ心体カ行スル志必死ニ至リテ後キム

○子曰興於詩 此章ハ學者藝ニ遊ブ上ニツイテ平生學ヲ習スル或ハ

知リヤスクコレヲ吟咏ノアゲサゲクリカス間ニ入心ヲ感動スル又ヤスレソノ本人情ニ出タルガ弊

詩ヲ誦スル上ニライテコレヲ **立於禮** 礼ハ恭敬辭讓ヲ本トシ外ニ六節又度數ヲ詳ニノ以テ

得ルナリヨリテ詩ニ興ルト云 立於禮 **成於樂** 樂ハ五聲十二律ヲソナテ調ヲナシ曲ヲ作り高下清濁ヲ

ナリヨリテ **成於樂** 成於樂

スコレヲ歌ヒコレヲ舞ヒコレヲ奏スル者共ニ其性情ヲヤレナヒ其体貌ヲヤハラクコレヲ

ノ查滓ヲナシ習俗ノ邪穢ヲスグベレコノ故ニ學者ノ終リニ得ル或ハ驗ニ義精ク七熟シ

レ并ツトメズノ道徳ニ和順スルヲバ必樂ヲ作ス上ニライテ **子曰民可使由之**

コレヲ得ルナリ 卽是樂ノ成就ナルヨリテ樂ニ成ルト云ナリ **子曰民可使由之**

民トハ凡民ヲ云之ノ字ハ道理ヲサス下同ジシレ君トメ凡民ヲオサメ教レ

一尺道理ノ當然ナル或ニ由リシタガヒテ 行ハシムルハコレヲセラレベキ **不可使知之**

田子圖字新論 卷二



道理ノ然ルニ一ニテハ凡民ニサトシ知ラシムルコトアクハズ只コレニ由ラシメシコトナリトゾク聖  
人ノ教ヲウククルコト天下ノ人コトニ道理ノ本ヲサトサニク欲セザルニハアラズ然レモ勢コトクニ  
サトスアタハザルナリ後世法ヲ巧シ令ヲレツラヒテ民ヲ愚クシテ

亂也 コレ勇者ヲ戒メ玉ヘルナリ勇ハ凶徳ニアラザレドモツガ貧キヲ  
イトヒクム時ハ其分ニ安ニセザル意アリテツイニ恃シラヌニ至ルナリ 子曰好勇疾貧

甚亂也 コレ小ハヲオサムル者ヲ戒シム人ノ不仁ヲニクムコト甚キニツアリ其不仁ヲイタフカラザル  
コレラニクムコトノモギタル又カレトリヒレグカラハカラスノ急ニコレラセムルニナカレカ

ヲ致ノ反テ已ニ害アリ此ニツク者ノ心ハ善惡コトナリトイヘソノ乱ラ生スルハ同ジキ故ニト  
アセテノ玉ヘルナルレ○勇ヲ好デ貧キヲ疾ムノ乱勇ヲ戒ムトイヘ勇者ヲヤシナヒツカフス

子曰如有周公之才之美 此章詞ヲウケテ人ノ驕大ヲ  
戒メ玉フナリ古ノ才能技藝ノ盛

使驕且吝 驕ルトハワ分長シタル必ラカヤカノ入ニタカブナリ  
ルハ其長ヲオシニテ人ニツタヘズ人ノ長ヲソクニテソノ短

其餘不足觀也已 人モレ驕文ヲ病アル時ハ其餘ノオ  
能功業富貴等ノ盛ナルモ又行

ノ長一事ノ善アルモテ取ルニタル者ナキ故ニコレヲニルモタラザルノ○程子ノ云ク驕ハ氣ノ盈  
テルナルハ氣ノ執ヲナリ朱子オモヘラク此ニツク者其意コトナリトイヘ其勢ヒツクニ相ヨル蓋シ

驕ハ各ノ枝葉ナリ驕ルニアラザレソノ各ハカヤカスヲナレテ只驕ノ本根ナリ各ムニアラサ  
レハソノ驕ル必ラタモツコトナレソ故ニ九ノ天下ノ人ヲコロムルニ驕ヲ各ナラズ各ノ驕ラザル

者イマダコシアラズト按ズル人ノ才能モト天命ニウケタレバコレヲコトメ入ノ不足ヲタスケ共ニ天  
下ノ用ヲナスベシ然ルラヒトリワガ私トセバ必天誅ヲウケテ凶禍ヲノガルベカラズ凡ノ富貴權

勢ノ類モミナコレニ 此至ノ字ヲ志ニ作リテ  
見ルベシ穀ハ禄ナリ

子曰三年學不至於穀不易得也 此至ノ字ヲ志ニ作リテ  
見ルベシ穀ハ禄ナリ

人學ブコト三年ヲ積ム時ハ功ヲ用ルコトヤククノホ得ル吸アリ然ルニナラ利禄ヲ求ルコト志ナ  
キハ道ニ志スアツシカヤウノ大モ得ヤスカラズトナリ○三年ニナラ禄ニ志ザスト云ニ只自奉スル

吸ヲ美ヲ求メザルノニアラス積學三年ニ反フ時ハ則世用ニ應ノ自コロニク欲スル意アリ然ルニイ  
マダ仕ヲ求ルノ志アラザルハ大ニ成シテ大ニ用ニトスル志ナレバコトハイヨク得ガタカレベレ韓氏ノ云ク後

世ノ六禄ヲ求ルノ志ミナ學ヲスルノ 篤信トハ道ヲ信スルコトアツ  
クノツトメニナヒ他ニウツル意

子曰篤信好學 篤信トハ道ヲ信スルコトアツ  
クノツトメニナヒ他ニウツル意

守死善道 守死トハ死難ノ節ヲ守リテ其志ヲ  
タガヘザルナリ善道トハ其死スルコト

危邦不入 國ノ政スデニ乱レテオサニラサル時ハ  
幾ヲ見テハヤク去リ其國ニ居ザルナリ

天下 天下ノ人コトニテハ

有道則見 有道トハ治ニリテ道行ハルヲ云見ハルトハ世ニ出ルツ天下ノ  
勢ニ治平ニムカフ時ハイテ仕ヘテ其道ヲ用ニホドコス

無道則隱 無道トハ

邦有道貧且賤焉恥也 コレヨリ下ニ句上ノ天下有道ニ句ヲウラ反シテトク邦  
トハ即天下ヲ以テ云上ノ邦ノ字ト同ジカラス世治ニレ時

邦無道富且貴焉恥也 世乱レ時カクレテ守ルベシ  
節ナキ故ニ不義ノ富貴ニ

行レテ貧賤ニ居ルハ恥ナリ 世乱レ時カクレテ守ルベシ  
節ナキ故ニ不義ノ富貴ニ

邦無道富且貴焉恥也 世乱レ時カクレテ守ルベシ  
節ナキ故ニ不義ノ富貴ニ

邦無道富且貴焉恥也 世乱レ時カクレテ守ルベシ  
節ナキ故ニ不義ノ富貴ニ

邦無道富且貴焉恥也 世乱レ時カクレテ守ルベシ  
節ナキ故ニ不義ノ富貴ニ



居九ノモ恥ナリ天下有道無道ノ出處カクノ如クナレハ邦國危乱ノ去就モ亦義ニカナルヲ知ラズ  
シテ士タルノ本領ナクシテ只碌々タル常人ナリ恥ツベキノ甚キニアラスヤ○晁氏ノ云ク學アリ守アリ  
リ而ノ去就ノ義イサギヨク出處ノ人ガアキラカニノ然ラ後君子ノ全徳ナリ ○子曰不在其位不謀其政

政事ヲ專ニシトムベシモ其位ニラズノ其政ヲハカリ思フコト己ノ政ヲ任ズルガ如クスルハコレ己  
職分ヲワスレテ人ノ職分ヲカスナリスナキ其職ニ心ヲツクサズル不忠ナルヲ以テコレヲ戒メテ  
官ニ居ル者己ガ職分ヲツトメテ其暇アル時他職ノ是非ヲ議ソク施為ノ當然ヲハカルモ位  
テ優ナル學ナレバコレ不可ナルニアラス又程子ノ云クモ君大夫問テ告ルハ則アリト按スルニ君モ  
シワガ位ニテラザル政ヲトハレバコレ一時ノ職分ナリツゲスト ○子曰師摯之始關雎之

詩ハ始ニ只音樂ハカリアリテ詩ヲ歌フ時ハ三ノ乱章ナリ或説ニ歌ノ末一章ヲ乱ト云洋々ハウレ  
ハレクサカナル意及耳トハキクニタレル義ナリ夫子衛ヨリ魯ニカヘリテ樂ヲ正シモフ時々々  
師摯ガ官ニ居ル時ニアタレルヨリ一時ノ音樂ニテ美盛ナリ師執手齊ニキテ後ツグ者ヲ  
コレニ及バズコノ故ニ夫子師執手ガアリツル時關雎ノ乱ヲ奏シタカ洋々トノ耳ニミチテオモヒカ  
リシコトヲ思ヒイダシテ

カク嘆美シ玉ヘルナリ ○子曰狂而不直 狂ハ志ノ高大ナルヲ云直ハタチニノ委曲ナラ  
直ナラザル者アルヲ 侗而不愚 侗トハ無知ナル見愿ハ謹厚ナリ 愷愷而不信 愷ハ無能  
スナホテイッ 吾不知之矣 蓋シ眞実ノ狂ハ必直ナリ眞実ノ侗ハ必愚ナリ眞実ノ愷ハ必信  
ハリチキ義アリ

子曰學如不及猶恐失之 子曰巍巍 子曰大哉堯之爲君也 子曰煥乎其有文章

子曰樂三也 子曰其四夫以テ天子ノユツリウケ一且ニ天下ヲタモチ 子曰大哉堯之爲君也

子曰帝堯ノ徳ラスベテ賛美シ玉ヘリコレ 子曰下ハ三ナ其大イナルヲカカドル 子曰魏巍乎唯天爲大唯堯則之

子曰徳澤及フ所ノ廣遠ナルヲ言ヒテコレト云フ 子曰蕩蕩乎民無能名焉 子曰煥乎其有文章

子曰煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク

煥乎其有文章 煥ハ光明ノ見文章ハ禮樂法度ナリ云意ハ堯ノ徳ツイニ名ツク











文王アリトモヒテ後ハ其道ツタリテ夫子ノ身アリシレ文王ノ文タレハ道ヲイテカ子ツナラ  
スト云フナシ夫子實ニ全クコレヲウケツキモフ然ルニ今道トハ六スノ文トハ五ハ只ソノ礼樂制  
度ノ文ヲ以テ自任シ

天之將喪斯文也後死者不得與於斯文也  
天イテ此文ヲホクサマク欲セザレバコレヲ得テ今ワカ  
身アリカハ凡者ヲバ匡人ニタリニイカバセシ必天ニタカヒテ已ラ寄スル

也匡人其如予何  
天イテ此文ヲホクサマク欲セザレバコレヲ得テ今ワカ  
身アリカハ凡者ヲバ匡人ニタリニイカバセシ必天ニタカヒテ已ラ寄スル

大宰問於子貢曰  
大宰官ノ名吳ニモアリ宋ニ  
アリトシテノ太宰トワキガタシ夫

子聖者與何其多能也  
何其多能也トハ何トメカヤウハ多能ナレトツ蓋シ太宰夫子ノ  
藝能多キヲ以テ聖人ト思ヒケル故ニコレヲ贊美ノ聖者カ問

子貢曰固天縱之將聖  
固天縱之トハモトヨリ天夫子ノ徳ヲオサムルヲイテ限量ヲ  
タテス心ノミテ大イ成サシメモフトナリ將聖ナラシトハ大カ

又多能也  
聖人ハ天下ノ事ヲイテ通達セスト云  
ナレモ故ヲツカラ多能ナリサレ

子聞之曰  
太宰子貢ガ問答  
兼テキハタモフ

大宰知我乎  
卑賤ヲ鄙キ事ヲモ  
知レリトツ吾少也賤  
夫子少年ニイダ禮仕  
シモサレ時ノイラノモフ

故多能鄙事  
卑賤ヲ鄙キ事ヲモ  
知レリトツ吾少也賤  
夫子少年ニイダ禮仕  
シモサレ時ノイラノモフ

君子多乎哉不多也  
コレ又ヒロク  
君子ヲ論ス

云吾不試故藝  
云意ハワレ世ニ用ヒラレザルヨリテ藝ヲ習フテコレニ通スルヲ得タリト  
吳氏オモヘラクコレ弟子夫子ノイノ語ヲ記ス時琴空カツテ夫子キクク

子曰  
言コレ類スル者アリト云ヨリテアセテコレヲ記セリト又古本ハコレヲ別ニ章トス

有知乎哉無知也  
コレ人夫子ヲ知識者ナリトホメタレヨリテコレヲ謙辭ヲ以テウケテモハレト  
見エタリ云意ハワレ知識アル者ナラシヤ知識ナレト有レト無キトハ多キト

有鄙夫問於我空空如也  
鄙夫ハイヤキオトコ四ノ愚ヲイヘリ空々トハ言ヒテ  
クメメテキ義ナリソノ問フ所問デモチキナレト

我叩其兩端而竭焉  
兩端トハ子タノ端ヨリカタタノ端ニデノコサレ義ナリ云意ハワレ知  
識ナレトイヘモシ人問フアバ知ル所ツククタメトスト云フナレト

子曰鳳鳥不至  
鳳ハ靈鳥ナリ舜ノ時樂ノ徳ニ彩儀シ文王ノ時周ノ岐山ニテテ  
明王出テ世オサレル時ノ瑞祥ナリコニ只コレヲ以テ世ニ明石イテ

河不出圖  
伏義ノ時河水ヨリ龍馬圖ヲ負テイツ伏義コレヨリテ  
ハ卦ヲ畫スコレヲ河圖ト云亦明王ノ瑞祥ナリ向義上ニ同シト

矣夫  
上ラウケテ云然レバコレノニ何ノスルヲモナクテヤニカナト  
此ハコレ夫子其道ノツイニ行ハレハレヲ嘆キモフ詞ナリ

子曰齊衰者

子見齊衰者

子見齊衰者

子見齊衰者

子見齊衰者

子見齊衰者

子見齊衰者

子見齊衰者



齊衰ハ喪服ノ名布ノカキメヲツバザルヲ斬衰ト云コレヲツバタルヲ齊衰ト云

冕ハ冠ナリ衣ハ口上ニキル物ヲ云裳ハモ下ニキル物ヲ云冠キテ衣裳ヲツタル者貴人ナリ

三種ノ人ト相見シモフ時ニ其年ワカシトイヘ必タチテ敬ラナシ

トアリモフ時ハトクワリ去リモフカレタツレ礼スル勞ラカクナリ

必タクスレテアズ尹氏ノ云ク此聖人ノ誠心内外ニ於ル者ナリ

誠ニヨリテヲノツ

顔淵喟然歎曰

彌堅

焉在後

以禮

如有所立卓爾

既竭吾才

欲罷不能

雖欲從之末由也已

子路使門人爲臣

病間曰

久矣哉由之行詐也

無臣而爲有臣

吾誰欺欺天乎

子疾病

久矣哉由之行詐也

無臣而爲有臣

吾誰欺欺天乎

子疾病

久矣哉由之行詐也

無臣而爲有臣

吾誰欺欺天乎

子疾病



欺人ハアガムカレシケレバ天ヲ欺キトソレ人トノ天ヲ欺クハ尫大ノ罪アリ夫子ミツカラコレニアタリモフハフカク子路カ非ラセメトナリ

之手也無寧死於二三子之手乎 寧トハウケテヤススル詞無寧ト云モ亦寧ト云

且予縱不得大葬予死於道路 且予縱トハ予ハ弟子ナト云意ハ又ワレ天ヲ

大葬トハ君臣ノ礼ヲソチヘタル葬礼ヲ云云意ハ又ワレ死ノ後タトヒ大葬セラルコトヲ得ス

乎 道路ニステラシテ葬ラシザルコトアラシク然ラバカレトイヒコレトイヒ何ゾ必シモ家臣ラユルコト

セントナリノ范氏オモヘラク曾子死セントスル時三簣ヲカヘテ云ク吾正キヲ得テ

スコレキナリトイヘテツシメズンバアルカラス夫子フカク子路ヲ懲スハ學者ヲ懲サシガタメナ

リ揚氏オモヘラク人知至リテ意識アルニアラザレバ其智ヲ私ニ用ヒヤ、ヒスレバ詐ヲ行ヒ天ヲ欺ク

ニオチイ子路ノ失コレナリ ○子貢曰有美玉於斯 子貢夫子ノ道ヲイタキテツカヘハサル

シキ至天子ノ道ニタトフ 韞匱而藏諸 善價ハタカキ 求善價而沽諸 善價ハタカキ

我待賈者也 云意ハサレバワレハ人ノ求メテ待チテ出者ナリ我ヨリコレヲ求ルコトハセシト

意アルベシ一説ニ此三句ツラニヨムレバコレ聖人道ヲ以テ世ヲスクフニ皇々タルノ意ナリ待トテ

求ノ字ヲホブル意ナシト○范氏オモヘラク君子ツカヘムク欲セザルハアラズ又其道ヨリガルト

子欲居九夷 九夷ハ東方ノ蛮人種アルヲ云コレ夫子道行ハレザルニ

之何 或人キイテノ実夫子ノ九夷ニカントレモフトコトモトテ 子曰君子居之何陋之有

君子トハヒロクノモフ自ノモフニアラス云意ハ君子ノナル所ノ人スナチ其徳化ス夷狄ト云

子曰吾自衛反魯然後樂正 夫子衛ヨリ魯ニカヘリモフハ哀公土年ノ冬ノイナリ

雅頌各得其所 雅頌ノ詩ハスナチ樂ノ歌ナリ得其反トハ雅六雅ノ詩

詩三風雅頌ノ三体アリ夫子ニナコレヲ正セリコトハ只ツノ重キヲアゲテ風ヲ略セルナリ蓋レ周ノ

礼樂ニナ魯ニアリケルガ後世詩樂カケウセチリニタレトトノハス夫子四方ニ周流シモハル間ヨ

公卿ノ官アリ僑國ニテ 入則事父兄喪事不敢不勉不爲酒困 酒ニモテ三

何有於我哉 說第七篇ニ見エタリ然レモコレ則ソノ事イヨクヒククノ意イヨク

子曰在川上曰逝者如斯夫不舍晝夜 子路曰何有於我哉 切ナリ輔氏ノ云ク此章學者ヲ懲言レテミツカラ踐履ノ間ニミナ

ルユヘシノ意ニス深切ナリ ○子在川上曰逝者如斯夫不舍晝夜

切ナリ輔氏ノ云ク此章學者ヲ懲言レテミツカラ踐履ノ間ニミナ

切ナリ輔氏ノ云ク此章學者ヲ懲言レテミツカラ踐履ノ間ニミナ

切ナリ輔氏ノ云ク此章學者ヲ懲言レテミツカラ踐履ノ間ニミナ

切ナリ輔氏ノ云ク此章學者ヲ懲言レテミツカラ踐履ノ間ニミナ



夫子川ノホトリニエソノ水ノ流ルヲ見テ天道ノヤムヲナキヲ嘆シモフ詞ナリ逝者トハ天地ノ運ニ  
 ヌク者スギ来ル者ツクコトヲ云フ云川流ノ亦ソノ中ニアリ如斯夫不舍晝夜トハ晝夜ノ時ヲス  
 テラカズノ息ノトミルコトナキコトカクノ如ク九カテトゾ一説晝夜セズトヨム蓋シ逝者カクノ  
 如クニエザルコト即コト道ノ体也ト本来自然ニカクノ如ク中ニモサレテコレヲ見ヤスキ者ハ  
 川流ニクコトナレヨリテ此嘆ヲ發シ學者ヲ導ク天道ニツトリ時々存養ノ功ヲ勉メ  
 ノ間斷ナカラレメク欲シナリヨリ篇ノ終ニ至ルニテニ人ニ學ヲツトメテセザルコトヲス  
 ムルノ

○子曰吾未見好德如好色者也 徳ハ己ニアリ人ニアルカキテ徳ヲ好ム  
 色ヲ好ムガ如クスルハ徳ヲ好ム誠アルナリ

ソレハ三乗ノ性ヲソクタル故ニ懿徳ヲ好ムト云フナレバコレヲ好ムコト誠アル者スクナキニ  
 ○史記ニ孔子衛ニイセシ時靈公夫人南子ト同車ニリ次ハ車孔子ヲノセテ前ヲトフル孔子コレヲ  
 ニクニテカクノ至リト按ズルニ色ヲ好ムノ情ハ私ニツクコト故ニソノ好ムコト切ナリトイハレ蓋  
 惡ノ心亦ヤムコトアタハサル故ニ本然ノイテツイニヨリカラス徳ヲ好ムノ情ハ性命ノ正レキ本ツクコト  
 故ニ仰テ天ニチス俯シテモ人ニチスノコトトメ快足セズト

○子曰譬如爲山未成一  
 簣止吾止也 書云ク山ツクル九仞ナルモ功一簣ニ虧クト夫子ノ言蓋シコレヨリ出タルナラニ  
 簣ハコトナリ山ツクリテナルニテトスル時二只一簣ノコトナリカキテナラサル

アリコノヤムコトカナラスノヤム  
 アラスワレトコトナリテヤムナリ 譬如平地雖覆一簣進吾往也 又平地ノ上ニ方ニ簣  
 ツムトイハレ必ナサンノ志アルバソノスハワガスマニユクナリ人ノカラカラスノ足レリト此兩段ハ詩ノ  
 此條ノ如ク云意ハ學者自ツトメテヤムザル時ハ則少ヲツツテ多ヲナス中道ニヤム時ハ前功コト

コトクスタル其ヤムニユク  
 ○子曰語之而不惰者其回也與 諸弟子夫子ノ  
 ニテ我ニクテ人ニテラストナリ

多クハコレヲサトリエズソノ行フコトモ亦コレヲレ井ツトムヨリテソノキクヌニウツコタルコトヲ  
 ヌカレズ顔子ハ夫子ノ言ニイテ悦ビスト云ヌナレコレヲ身ニ体スルコト拳々トメ奮ツテテ失ハスナ  
 草木ノ時雨ニウルホヒテノヒサカフルガ如クシテノコタルコトカアラシコレ諸子ノ

○子謂

顔淵曰惜乎吾見其進也未見其止也 顔子ステニ卒スルノ後夫子嘆  
 惜シ玉ヘル詞ナリ進止二字ノ義

譬之如爲山ノ章ト同レ蓋シ全ク体ノヤムザルハ  
 仁ナリ顔子ステニ仁ニタカハスヨリテ亦ヤムコトナリト

○子曰苗而不秀者有矣夫 五穀ノ芽メテ生スルヲ苗ト云ソノ華ヲ  
 秀ト云フ秀ツト云イハタ秀テズメカル者アリ 秀而不實者有矣夫 五穀ノ芽メテ生スルヲ苗ト云ソノ華ヲ

後生トハコレヨリ年ワカキ者ヲ云其ユクサキ年高ニカツヨク  
 學ヲ積テ成スコトヲ待ニタレリ其弊トモトニ畏ルベシ 焉知來者之不可及也  
 來者トハ未耒ヲ云云意ハコノ少年ノ人イツクツ將來ニテモワ分業ノ今日  
 シカザルコトヲ知ラン共スニミストハカルカラストコレ即ソノルベキ事ナリ 四十五而無

聞焉斯亦不足畏也已 此ハ人四十ニテモナラ世ニキコフル実ナクバコトニ至テクヒガ  
 以テスルコトアルニタラスコレ人ニサニ時ヲ  
 失ハスノ學ヲツトムキコトヲスメテ手詞

○子曰法語之言能無從乎 凡ソ人ヲ

ビクニ法アリノツニ法言ナリ正クイヒテ其心ニサカフヲモハカザルヲ云ソノ言多クハ古ノ法言  
 ニヒク故ニ法語ノ言ヲ云ナリコレヲキク者ソノ道理正ク明ナルヲ以テ必ツレニハカレドレ



タレカコレニ從フ 改之爲貴 コレニ從フ時ハ則ソノ行實ヲ非ラ改ムヲ以テ 貴レトス然ラザレバ只コレ面從ニシテ益ナシ 巽與之言

能無說乎 ニラ六巽言ナリ 巽ハシタガフツ 巽順ニシテコレガ與ニ委曲ニシテビクヲ以テ巽與

カコレラ悦バチ 釋之爲貴 コレラ悦ブ時ハ則ソノ前趣ヲタツ子思フヲ以テ貴レトス 然ラザレバ其詞ノ中ニヨセタル意ヲシラスノ亦益ナシ 說

而不釋從而不改吾未如之何也已矣 コレニツグテ進セズコレヲ拒テウケザルハ ナラシモ亦ナリソレ或ハサトル時ハ則ヨク

○子曰三軍可奪帥也 改メ釋ルルニ悦アルベシモ悦フトイヘレコレヲ改メ釋ルルニ悦ハレ則終ニ改釋セズノヤム聖人トイヘレコレヲイカガセシヤ

四夫不可奪 三軍ノ說前ニ見エタリ帥ハ大将ナリ三軍ノ衆ヲ以テシタガヒニボル將帥ハ 四夫ノ說前ニ見エタリ帥ハ大将ナリ三軍ノ衆ヲ以テシタガヒニボル將帥ハ

志也 匹夫ト夫婦サレムカヒノ民共ニ一匹夫ニシテ故ニ匹夫匹婦ト云然ラバ匹夫ト云ハ夫ヲ云 ナリ夫ノ身ハ最アナトリヤスキ者トイヘレヨク志ヲ守ル時ハ其勇巴ガ身ニアルヲ以テ

○子曰衣敝緇袍 志ト云ニタラズコレ入ニ志ヲ立ニラフス、メ玉ヘル詞ナリ

與衣狐貉者立 緇袍ト云ニタラズコレ入ニ志ヲ立ニラフス、メ玉ヘル詞ナリ

而不恥 其皮ヲ以テツクレル裘ヲ云コレ價ノタカキ衣ナリ 緇袍ト狐貉裘トハ共ニ寒キヲ

者其由也與 不恥ト云ニタラズコレ入ニ志ヲ立ニラフス、メ玉ヘル詞ナリ

不佞不求何用不 夫カラス蓋シ貧富ヲ以テ心ヲウゴカサル者ハ道ニシテミタレリヨリテ

臧 臧コレ詩ノ衛風雄雉ノ篇ノ詞ナリ凡ソ貧キ者富タル者上ジハリテ貧キヲ恥ル意アルバソノ

子路終身誦之 アリコノ故ニ夫子此詞ヲ引キテノ云ハク子路イカクノ如クナラ

子曰是道也何足 コレ止リテ又サフス、マンヲ求メザル志見ユル故ニ記者終身誦之トイリ

以臧 以臧ト云意ハコレ道ナリトイヘレ道理キハリナケレバナシコレノミヲ以テ臧ヒトスルニタラントコレ

後彫也 惡衣惡食ヲハツルハ學者ノ大病善心存ゼザルト蓋シコレ由リ子路ノ志カクノ如クソノ人ニヨ

○子曰歲寒然後知松柏之 止ラザルベシ然ルヲ身ヲ終ルニテコレヲ誦スル時ハ

後彫也 則日新ニス、ムニニアラズカレガ故ニ激ノコレラスム

○子曰知者不惑 諸木ノシボムニラクレテトキハノ色アルヲ知ルトソコレ小人モ世ニ居ル時ハ君子トコトナラズ

○子曰知者不惑 見ユルヲアレバ只利害ニツクニ事變ニアフニ至リテ後君子ノ守ルヌサハ貞固ヲカスザル

○子曰知者不惑 明ニ見ツキ

○子曰知者不惑 トノタ上ナリ

○子曰知者不惑 不憂 仁者ハソノ道徳以テ私欲ニ勝ツニ

○子曰知者不惑 勇者不懼 勇者ハソノ氣力以テ道義ヲ



ニツツテモコレヲ慎レズコレ様ノ人ヲトクトイヘ知仁勇ノ三ツ又學者功ヲ用ルノ次第ナリ  
智以テコレヲ明シ仁以テコレヲ守リ勇以テコレヲ行フナリ○コレ智仁勇ノ三徳ハモト身ニツ  
ハレ者ナリトイヘ学シテコレヲ修ラザレ成レ得テ其手ニ入ルヲアタハスツノ学修ノ五天言ホ  
ハシメヨリ此ニツツツモカクテ得ズ三徳成ルニ至ル時ハ其用廣大テキハニツツクルナレト知レ

子曰可與共學  
此章ハ學者ステニ歩ラヌムニサラヌ又ニ歩ラヌムニツトメハケンデ必ツノ極  
カ子タリ学立權ノ四子並ニ知行ヲカ子テ見ルベレト共ニ

未可與適道  
ステニ求ルヲ  
知レ此道ニツ  
学フベキハ此道ニツイテ求ルヲ知テ專一ニコレヲ求ル人ト云

可與立  
ステニヨク立ツニアリトイヘ此道ニツイテイダ精微ノ  
ヲアタハ

可與立未可與權  
權ハカリノオモシ物ヲハカリテ輕重ヲ知ル者ナリ  
ナル人ト云

幾變通ノ宜ヲハカリサダムルヲアタハサル人ト云○凡ソ權ト云ニ義アリ經ニ對ノ時時經ハ萬  
世不易ノ常道ナリ權ハ經ノフサガリタル所ヲ變ノ通スルニ時非常ノ道ナリステニ及通  
スル時ハ又常經ニモトラスコレ權ノ正名本義ナリ又何事モタニ法ニナツニ時宜ニカナハサレ  
對ノ云時ハ即コレ中庸ノ道ナリ日用常行ノ間事ニシタガヒ時ニヨリテ其宜キ所ヲハカリ定

○康棣之華偏其反而  
コレヨリ下ニ段ハ今ノ毛詩ニ入ラザル逸詩ノ詞ナリ下  
夫子ノ語コノ詞ヨリテ出タル故ニ記者ニツコレヲシルス

康棣ハ木ノ名偏ト反トハ即翻ノ字ナリ此ニ尙興ナリ別テ意義ナレ只コレ康棣ノ花風  
フレヒルガヘリヒルガヘルヲ見テ其心ウキ下ニ云爾ト云人ヲ思ヒ起セルヨリテコレハ興ノ詞ト

豈不爾思室是遠而爾思爾  
爾ハタラサスレレ云意ハ我久クヲツレガハナラ  
ズ

子曰未之思也夫何遠之有  
學者ワカ心ニ反リ求ルヲアタハス  
ヲケレタナリ

夫子上ノ詩ノ詞ヲ借リコレヲウラガノノ至カレ爾ヲ思フトイヘ實ニイダコレヲ思ハルナ  
リモレコレヲ思ハ彼スナハチコレ至ルソレ何ノ遠レト云一カアラント即仁遠カラシヤ我仁ヲ

欲スレバコレ仁至ルト云  
章ト同シ意ナリ

郷黨第十  
楊氏ノ云ク聖人ノイユル道ハ日用ノ間ヲハナレズカレ故ニ夫子平日ノ動

学ヲ修メルノ聖人ノ容色言動謹シテ書レテ備シテ録シテ以テ後世ニ傳ラスト云  
ナレム其言ヲヨミ其事ニツテ宛然トノ聖人ノ目ニイニスガ知レ然リトイヘ聖人ノニ極々トノ

コレラスル者ナラシヤ蓋盛徳ノ至レル動容周旋ヲノツカラ礼ヲタレルノニ學者心ヲ聖人ニ齊  
ク欲セバ宜クコレヲイテ求ムベシ楊雄トガ云ク郷黨ノ一編ハコレ聖人ニ心ニ從フノ矩亦コレ

隱スナキノ教只ツノ  
時ノ字コレヲ盡セリ

孔子於郷黨恂恂如也  
此節ハ夫子郷黨ト宗廟朝廷ニイニス時ソノ言語容貌ノ  
コトナルヲシルス郷黨ノ字義前ニ見エタリコレ夫子ノ

スミテ郷黨ナリ恂々トハ信実ナル見スナホテノ儀文ナキ意アリ恂々ノ  
二字ニテカ及ドリツクサレヌ改ニ又如ノ字ヲツクルナリ下ノ知字ニテ同シ

似不能言者  
其詞謙ノ類ヒテ物ヲエイヌ者ノヤウナル賢智ヲ以テ人ニ先ダザルヲ云コレ亦  
恂々タル内ノ一ナリ蓋シ郷黨ハ長者宗族ノミジクナレ故ニツツ言貌ヲカカク如

其在  
宗廟朝廷便言唯謹爾  
其ト夫子ヲサス宗廟ハ魯君ノ廟便々ハ釋說ノ義  
リ宗廟ハ礼法ノアル所ナルヲ以テ其衆ニツツ

其詞謙ノ類ヒテ物ヲエイヌ者ノヤウナル賢智ヲ以テ人ニ先ダザルヲ云コレ亦  
恂々タル内ノ一ナリ蓋シ郷黨ハ長者宗族ノミジクナレ故ニツツ言貌ヲカカク如

其在  
宗廟朝廷便言唯謹爾  
其ト夫子ヲサス宗廟ハ魯君ノ廟便々ハ釋說ノ義  
リ宗廟ハ礼法ノアル所ナルヲ以テ其衆ニツツ

其詞謙ノ類ヒテ物ヲエイヌ者ノヤウナル賢智ヲ以テ人ニ先ダザルヲ云コレ亦  
恂々タル内ノ一ナリ蓋シ郷黨ハ長者宗族ノミジクナレ故ニツツ言貌ヲカカク如

其在  
宗廟朝廷便言唯謹爾  
其ト夫子ヲサス宗廟ハ魯君ノ廟便々ハ釋說ノ義  
リ宗廟ハ礼法ノアル所ナルヲ以テ其衆ニツツ

其詞謙ノ類ヒテ物ヲエイヌ者ノヤウナル賢智ヲ以テ人ニ先ダザルヲ云コレ亦  
恂々タル内ノ一ナリ蓋シ郷黨ハ長者宗族ノミジクナレ故ニツツ言貌ヲカカク如

其在  
宗廟朝廷便言唯謹爾  
其ト夫子ヲサス宗廟ハ魯君ノ廟便々ハ釋說ノ義  
リ宗廟ハ礼法ノアル所ナルヲ以テ其衆ニツツ



時ハ詳之問テ事ヲ行スレ朝廷ハ政事ノ由ルヌナレ議論ノ説ヲキムレヨリテ  
皆明辨ナラサルヲ得サレ度只コレヲツツシテホレイ、ニハノ玉ハザリシナリ

朝與

下大夫言侃侃如也 コレハ天子朝廷ニイニテ上ニツカウツリ下ニヒリテ下ノ同方  
ラザルラリス諸侯ノ卿ヲ上大夫ト去ヨリテ次ノ大夫下大夫ト

云時ニ天子下大夫ナリ侃々ハツヨクナラキ義ナリ朝參ノ時君イマタ出テ朝ヲ視テハ  
夫ト議論シ玉フアル時ソノ下大夫ト物ノモフニ詞ヲナク論ヲ正クタイニカクシ玉フ  
與上大夫言誾誾如也 間々ハ和悦ニアラフヲ義ナリ上大夫ヲウヤヒテ  
故ニ詞ヲヤハラカニアラフツヒ正ス意ソノ中ニアリ

君在 君在下出テ朝ヲ視テ時ヲ云蹴踏ハウセヒツシテヤスゼサル  
見與々ハ威儀ヲノツカラ中ニカナヘル見此ニ句ハ即コレ泰シウツ安キ

蹴踏如也與與如也 君在下出テ朝ヲ視テ時ヲ云蹴踏ハウセヒツシテヤスゼサル  
見與々ハ威儀ヲノツカラ中ニカナヘル見此ニ句ハ即コレ泰シウツ安キ

義ナリ一説ニ張子ノ云ク與々ハソノ心君ニムカフ  
○君召使擯色勃如也足躩  
如也 諸侯相朝會ノ賓主トナル時賓君イタル時ハ主國ノ君大門ノ外ニ由ムカテツノ來レ  
ル意趣ヲトヒキク其時賓主ノ間ニ立ツナリテ其命ヲウケツタフル役入アリ賓ノ方  
ヨリ出ルヲ介ト去主君ノ方ヨリ出ルヲ擯ト云君ノ位ニヨリテ其數多少アリ上ハ卿次ハ大夫未  
ハ士ナリ勃トハ色ヲ変スル見躩トハタチモトホリテスニカタキ見魯國ノ隣國ノ君來朝ノ時  
魯ノ君天子ヲ召テ擯セシメ玉ヘハ君命ヲ  
揖所與立左右手 揖トハ手ヲ揖キサレ由テ  
音趣ヲ通スルヲ高時  
敬ヒラルニヨリタツノ色カタチカクノ如シ

夫子次擯トナリモフ故ニ左右ノ擯者ト共ニ賓主ノ命ヲ次第ニウケツタヘテ出ルハ玉フヨリテ  
其身ヲナカバ子ナリ共ニ立ツツ入ト相揖シ左ノ人ヲ揖スル時ハ手ヲ左ニ出シ右ノ人ヲ揖スル  
時ハ手ヲ右ニ出シ玉フ

衣前後襜如也 襜トハ衣ノタレトノヒタ見ナリ威儀ウヤクシクテ正キ  
故ニ相揖シ玉フ時ニ其身ハ子ナレ衣ノ前後ハタレトノヒ

趨進異如也 翼トハ手ヲ擯キ臂ヲハリテ正キ見鳥ノツバサヲハタレカ  
キツコレハ賓主ノ命ヲ通ジラハリテ主君賓ヲ請メ入レシ擯  
者モソノアトニツキテ入ル時ニトクワレリテスニ五ノ  
トモソノ威儀クツシスノシカモ脚雅ナルゾ

賓退必復命曰賓不顧矣 命復  
トハ死命ナリ君ニウケタル命ヲツトメテハリテ返詞スルナリコレハ賓君退出ノ儀ツカ  
時主君擯者ニ命ヲ送ラセル擯者賓ノ車ヲツラケテ入テ反命スル詞ナリ賓君ステニ遠ク  
去リテカヘリミハストツ顧ミカハ礼ニ殘ルヌナキ故ナリ此時ニテ主君ナラカニ入り玉ハサル  
故ニク由エテ君ノ敬ヲ先ヅコレ定リタル式ナレ時ノ人多クハ忽略ス夫子ハ必反命シ玉ヘル

○入公門鞠躬如也如不容 コレハ天子朝參シ玉ヘル時ノ礼容ヲシス公門  
ハ君門ナリ諸侯ニ門アリコレハ大ニナル路門  
ヲサス鞠躬ハ身ヲカムルゾ君門高大ナリトイヘ  
敬意至レル故ニ身ヲカメテ入ラザルカ如クニエ玉フ

立不中門 門ノ中ニ立テ  
アリ古ハハツ子ニ東ノトヒラ

行不履闕 行トハ門ノ出  
入ヲ云シキミハ

過位色勃如也足躩如也 過位色勃如也足躩如也

如其言似不足者 君ノ虚位ヲスキ玉フ時同列ノ臣ト物ノモフア  
レバ其言似不足者ニ君ノ虚位ヲスキ玉フ時同列ノ臣ト物ノモフア  
レバ其言似不足者ニ君ノ虚位ヲスキ玉フ時同列ノ臣ト物ノモフア  
レバ其言似不足者ニ君ノ虚位ヲスキ玉フ時同列ノ臣ト物ノモフア

鞠躬如也 君モレ夫子ヲ堂上ヘ召ノボセ玉フア  
レバ階ヲノボリ玉フ時カクノ如シ  
兩手ニテモスソラカハツツカサランガタメナリ  
屏氣似

兩手ニテモスソラカハツツカサランガタメナリ

屏氣似

如其言似不足者

鞠躬如也

兩手ニテモスソラカハツツカサランガタメナリ

屏氣似

如其言似不足者

鞠躬如也

兩手ニテモスソラカハツツカサランガタメナリ



不息者 堂上ニテ至尊ニチカツキマフ故ニイキザレテ 出降ニ等退顔色怡怡如也

一等ハ階ノ一段ナリ怡々ハヨコヨコシキゾ若前ヨリ退階ノ階ニ等ヲオリモフ時ハ 没階趨異如也  
ヤウヤク君ニ遠カカレ故ニ顔色ヲユルベナナチヤハラギヨヨシク見ヘモフ 階ヲオリツクシテモトノ既ヘカヘ 復其位蹶蹶如也  
ルニハトクワレテ以テ敬トス

○執圭鞠躬如也如不勝 執ハ天子君ノ使者トノ隣國ニ聘問シテ五ノ時ノ礼容  
ナリ

時ニレリトメモハレル端時ナリ 朝觀ノ時ハ君ニツカラコレヲトル聘問ノ時モ大夫ニコレヲモタセカノ君  
ノ前ニスマテ以テ信ヲ通スコレ國ノ重器ナラテ以テ夫子聘礼ニ至ラトリモフ時ノ敬カク如シ  
如不勝トハ主ハ輕ケレバ 上如揖下如授 ガリアリソノアガレ時モ人ヲ揖スルガ如クナルニ  
其重キマテハカレカ知ツ

スキスソノサガレ時モ物ヲ 勃如戰色 戰ハラノクナリフルフヲ云フク 足踏踏如有  
サツクルガ如クナルニスキス

循 踏ヤトハアレドリノセマリタルヲ云指トハ物ニツキニハチセガレ義ナリ其アニ踏ヤト  
セリテマアゲクヒスラヒキテ地ヲナシズ物ニツキニシタガフ吸アルガ如シ 享禮有

容色 享ハタテマツルナリ聘礼ヲハリテ後本國ヨリヲクリタテマツラルニ玉璧ヲ堂上ニツラ子  
進物ヲ庭上ニナラベテ享礼ヲ行フ此時ハ容貌顔色ユルビハラギテ見ツベキ歟アリ蓋シ

聘ハ君ノ命ヲタツトフニヨリテ敬ニアラザル其礼ヲツクスコナシ 私覲愉愉如也 私覲ト  
享ハ君ノ意ヲ達スルニヨリテ和ニアラザル其礼ヲツクスコナシ 〇君子不以紺  
カケ物ヲ以テカノ君ニミエムルヲ云此時ハ享礼ヨリモ又イヨイイラゲル

細飾 コレヨリ下ノ夫子衣服ノ制ヲ記ス君子トハ孔子ヲサス一説ニ此篇ハコレ孔子ノ遺書ナ  
細飾ハ古ノ曲礼ヲミシヘ記ス只孔子ノ事ノミアラザルニヨリテ君子ト云ナリト紺トハコク書

赤ニラウカベル色今俗ニカラスナリコレ齋戒ノ服色ナリ 緇ハウス赤キ色コレ三年ノ役ノ小  
禮ノ練服ノ下ガサ子モトヲスル色ナリ 飾トハエリトヘリト云此ニ色ヲ飾ニダモシモハサレバ

衣裳トシモハサルヲ云及バズコレ齋戒ノ服色ヲ常服ニ用ヒテ制法ヲニダリモハサルヲ示セリ  
又考工記ニ入ヲ為練五入ヲ為緇ト云ニヨレ練ハ三入ノ赤色ナリ其ト入黒クソムルヲ紺ト云ニ  
黒クソムルヲ緇ト云此ニ相連キ色ニ衣裳 領縁ニサダリテ 紅紫不以爲褻服

用ユル正色ニアラス時ノ入或ハコレヲ用シテ夫子ハ敬モシモハヌナリ 紅紫不以爲褻服  
紅今ノ襦色赤白ニシハリテ南方ノ間色ナリ此ハ即今ノムラサキ 黒赤ニシハリテ北方ノ間色ナリ

暗ノ服ニシモハサルハ云及バズ按ズルニ青黻赤白黒ハ五方ノ正色ナリ 緇縹紫碧黼ハ五方ノ間  
色ナリ 間色ハ礼服ニ用ルアレバ必シモソムベカラズ 紅紫ハ只艶麗ナラキヲヒモフコトシテ女意  
ナルニシ又褻服ヲ註ニ私居ノ服トアレバ燕居ノ服ニ紅紫ヲ用ルタレモ又ナリ 褻服ハ私居

ナリ身ニ近キナレキ又云時ノ入或ハコレヲ 褻服トスレバ夫子ハ用ヒモハヌト此説長セニ似タリ  
當暑衫絺綌必表而出之 絺綌ハ葛布古ノ暑服ナリホソキヲ絺ト云フトキヲ綌  
ト云夏ノアツキニアタリテヒトヘノカタヒラフキモフ時ハ必

ツ下ガサ子ヲキテカタヒラフウラソヒニノ外ニ出シテアラスキアラハ 緇衣羔裘素衣  
サレトノタメナリ此方ニフルキ婦女ハカタヒラノ内ニ紅梅ノ下ガサ子ヲキテ 緇衣羔裘素衣  
タラ

麤裘黃衣狐裘 此ニ麤下ノ麤裘トハ冬ノ衣服ヲ云緇ハ黒色羔裘ハ黒羊ノ皮ニ  
裘ノ上ニ手テモヲカクス物ナリコレニ麤ト稱トノ 麤裘長短右袂 麤ハ長ハソノ長サ  
色ヲ相カテハレシトナリ朝服上ヘキ又益褌衣ニニククフ

三十四



長短之度、カナルニテコレヨリモ長クス右ノ袂ヲ短クスルハ事ヲナスニタヨリアレバナリ長短  
ミナソノ宜キヲナヘリ一説ニ藝ノ義ナリカタルヲ短クメ事ニタヨリスルハ聖人ノ氣象ニアラス  
此段ヲ藝ノ義ハ長短右袂ト云ムベレト有ト古字通ズ藝ノ義ハ長クモ短クモノ 必有寢衣  
法式ニカハラス時ノ人或ハ袖ヲトリヌツレバ夫子ノ義ハ必袖アリト

長一身有半 コレハ下ニ齋戒ヲ記ス吸ノ齋戒ニヨニアリ寢衣ハイニル時ノ衣ナリ一身有  
半トハ身ヒトタケト又ナカトナリ齋戒ノ時ハ常ノ如クニ禱齋バカリニテ

又ハカラズ又暇ヲキナガラモイヌベカラズヨリテ別ニ寢衣ヲ制シソノ長サ身ヒトタケ半ニ足マ  
デヲオホヘリ時ノ入略ノコレヲセザレバ夫子ハ必コレアルナリ下明衣ノ條ノ必有ノ義モコレニ同シ

狐貉之厚以居 狐貉ハ毛フカクノアツクアタカナリ居スルヲ云ハレノ義ハカキヲ  
以テ貴シトスレニ燕居ノ義ハ温厚ヲ身ニカナフニトレリ 去

喪無所不佩 喪ハ親ノ喪ヲサス古人ハ玉佩アリヲクサリテオビ物トス事佩アリ火ウチ  
小カトイレクモリ筆ヲケユニテノ類ヲ云君子故ナケレバ玉身ヲ去ラス去

之 九ノ裳ハ前三幅後四幅朝祭ノ服ハ其裳ヲ正幅ヲ用ヒテ幅ノ如シヨリノ惟裳ト云惟ハ六  
ヌノナリ其腰ニヒタメヲトリツム常キル深衣ノ裳ナドハ正幅ヲタチカモキキ方ヲ上ニノ腰

ヒタメナレシテソキメニテ又ヒツク故ニ殺クト云夫子必其制ヲ正テノカキキ カキキハ  
ノケノキ吸ヲソナヘハフクベキ吸ヲハズキテ各ソノ事ヲナヘルナリ 羔裘玄冠不以弔

羔裘玄冠不以弔 羔裘ハ以テ主トス青服ノ色ハ黒キヲ以テ主トス羔裘玄冠ハ其色ニ黒シ弔スル時ニシテ變スル  
ノ死ヲカナレシテナリサレバコレハ主人イマダ夜服ヲ成サレ内ノナリ成服ノ後弔スルハ各ソ

服スニキ吸ノ キ吸ノハ  
弔服ナリ 吉月必朝服而朝 月ノ光ハ輪ニ死ノ朔ニ生スルヲ以テ吉ト云朔ハ月ヲススル

故ニトイハズノ月トモ云ナリ 朝服ハ朝參ノ服ナリ時ニ任テヤメタルハ多クハ月朔ニ公ニ

朝拜ヒズ夫子ハ致仕ノ後ニモ此礼ヲステモハズ服ニ必朝服ノニタマヘルナリ ○ 齊

必有明衣布 コレヨリ下夫子 齊戒ノツシミア記ス明衣ハ白布ニテツクルモトヲレノ色衣ニハ  
細キヲヒキ六幅キヲスコレヲ明衣ト云一明ハ明潔ノ義ナリ齊戒ニ必沐浴

ス浴ノ後ニ明衣ヲキル身ヲ濯クセトナリ 齊必變食 齊ハ常食ヲ変メ酒ヲノニニ  
○ 必有寢衣長一身有半此一段ヨミルベシ 節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ

必ラクラマナシヲ 必ラクラマナシヲ  
居必遷坐 ノ敬ヲ忘レテナリ以上齋戒ノ時ノ間ニバテラクノ

食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ

○ 食不厭精 コレヨリ下夫子 齋戒ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカズトシラ  
ゲタルヨリノ飯ハヨク人ヲヤチテガ故ナリサレド精ニアカ



必モ人ニ害アルニシテレドソノ備ハハ  
ラザルヲイミテ食シ玉ハス 肉雖多不使勝食氣

ラ禱フガタメナリモ肉ノ氣カチテ穀氣トシテ  
シ至ラフアレハ飯ノ氣ニカツマデニ至ラシメ  
カタシムル 惟酒無量不及亂 酒ハ人ノ多ク  
カタルニシテ酒ハ人ノ多ク六穀ヲ合ス物ナル  
コト聖人心ノ欲スル所ニシタカヘ知ラズ

如シ常人ハ必フカクイマシメテクノ氣血ヲ  
アル者ハ酒膳ノ類ニテ家ニツクリタル見  
或ハ人ヲソコナクモアルニヨリテ只穀供  
民ノ家行旅ノ時ナドハ家造ノ者ヲ得カタシ

只ナキ時ハ必シモ求メズナリ在疑ニキハ食  
スアモハス必食 不多食 少モ多キヲムサ  
ノ類ヲ以テアセ記セリ 祭於公ハ祭ヲ魯君  
カハリ至ハ宿ヲヘスノスナチ家慶ニアカチ

不出三月出三月不食之矣 祭肉トハ家廟  
レバ人コレヲ食ヒス神ノ 食不語寢不語  
オロシヲケガスレハナリ 祭於公ハ祭ヲ魯君  
ノ類ヲ以テアセ記セリ 祭於公ハ祭ヲ魯君

祭於公ハ祭ヲ魯君ノ廟ニ歌クルヲ云其日  
祭肉トハ家廟ノ祭肉ヲ云コレ君ノ膳ニ比  
聖人食スルニアタリテハ食シヌルニアタリ

テ声ヲ出ス寢食スル時ハ氣ヲチガリテ通  
モノガタリスルアレハ肺ヲソコナクユヘナ  
シラケヌ飯ナリ菜羹ハ野藜ガカリニテ肉ナ  
瓜ノ三物ハ極テウスギモノ也居食スルガト

祭ニナルノ食ナク敬シ 席不正不坐 郷人  
五ハ祭リハナキナリ 郷人飲酒古ハ郷飲酒  
斯出矣 郷人飲酒古ハ郷飲酒トテ郷黨ニ歲

朝廷ニテオコナクコレハ三月ノ饗ナリトイ  
ノ四ツ目ノ面ヲシテ能ク皮ヲカウリ衣衣米  
チテ屋宇内ヲカリ出ス階階東階ナリ古堂ニ

子郷人ノ鬼ヲオコラキイテ宗廟ヲオドヨク  
是レ孝ナリ 問人於他邦再拜送之 問トハ安  
ト云ヘリ 問人於他邦再拜送之 問トハ安否

トトフニ再拜ノコトヲ送リ冬心ナリ古礼ナ  
トカキテ僕ニワタシ僕ステニ出去リテ思ヒ  
急ニ僕ヲヨビカヘレ書身案上ニシキテ 康子

拜ヲ設テクニツカハシケルトナリ 康子饋藥  
マフ是レ礼 曰丘未達不敢嘗 達セストハイ  
ナレバナリ 曰丘未達不敢嘗 達セストハイ



藥イツノ病ヲ治スルヲ知ラズ孔子ノ家ノムニ 廐焚子退朝曰傷人乎不問馬孔子ノ家ノムニ

魯君ノ禮ナリト云訖モアリ少儀云朝廷三日退夫子朝廷ヨリ退キ火ノ外ニキテ 君賜食必

正席先嘗正席先嘗 君賜腥必熟而薦君賜腥必熟而薦

之腥ハナクノ肉ナリ熱ストハニルナリ宗 君賜生必畜之君賜生必畜之

祭祀賓客ナトノ重 侍食於君君祭先飯侍食於君君祭先飯

リシムヲ祭ルナリ人君食スル時膳夫ノ官ニイリテ祭リタラハノモヲトリ食ラタコ

疾君視之東首加朝服拖紳疾君視之東首加朝服拖紳

君命召不俟駕行矣君命召不俟駕行矣

入大廟每事問入大廟每事問

朋友死無所歸曰於我殯朋友死無所歸曰於我殯

歸ストハ歸依ヨリタムナリ殯トハ棺ノイマダ葬ラサル間其家ニトメ置テ奠哭スルヲ云他ノ

朋友之饋雖車馬非祭肉不拜朋友之饋雖車馬非祭肉不拜

義ルユウケテ拜謝スルニ及ハズ祭リニシテハ肉ヲオクリイタ

居不容居不容

子見齊衰者雖狎必變子見齊衰者雖狎必變

見冕者與瞽者雖

者式之式負版者者式之式負版者

有盛饌必變色而作有盛饌必變色而作

迅雷風烈必變迅雷風烈必變

迅雷風烈必變迅雷風烈必變

迅雷風烈必變迅雷風烈必變

迅雷風烈必變迅雷風烈必變

迅雷風烈必變迅雷風烈必變



夕ニ玉藻云モレ疾風迅雷甚雨アレバ必ス變ス余其ニ升車必正立執綏人車ニアルトキニ

夜トイハ臣必スヲキ衣服ヲ冠テ坐スト云是レナリ車ニボラントスルトキ正シク立テ綏ヲトツテノボリ車中不内顧内ハ後ヲリ車中ニテカヘリ

夕ニ是レハクツカヘラサラン夕ナリトイヘリ是レハワシニ從ヒレ後人ツ子ニ正レキ不疾言ハトク言ハストハアハタシクイハルニ不親指人ヲオトロカスニシキノタメナリ

ヲ得スソノ非ヲ見出スニシキノタメナリラドハカスニシ色斯舉矣色ハ人ノ顔色ヲ云人ノ顔色翔而後集翔ハカケリトブナ

キノタメナリカケリニワリテツビラカニ見サ曰山梁雌雉時哉時哉夫子アル時山梁アタリラ

得レコヲ難シタラナリ山梁ハ山ニクノホノ橋ナリ雌雉ハメジナリ雉ノ十歩ニ啄百歩ニ飲

メツノ時得タルヲ見タヒ人ハ往々時ヲ失フヲ嘆クニフナリ又色斯舉矣ノ上ニ山梁雌雉ノ四

字アルニト云ヘリ又色斯舉矣翔而後集子路共之三嗅而作子路夫子ノ時ナル

トアルニ句ハ逸詩ナラント云説モルナリカナノ嘆ノ心ニ達セ

ス雉ヲ養熟ノ供ヘレニコレヲ食セスニタヒカギテ立タフ是レ子路夫子ノ本心ニ達セスノ熟雉ヲ

供ス夫子コレヲ食シタハサバ子路ウツ生センヲ恐レタ食トキハワガ本心ニツムク故ニ三タ

ヒ其氣ヲカイテタチ子路ヲササレタニフトナリ又子路トラントユキムカヒニ雌雉羽ハタ

キレテトビサリヌコノコヨク詩ノ心ニカケヒシユヘルシタルモノナリ臣云ヘリノ章説多ケレコ

ニ畧シ記サス

四書國字辨論語卷四



